

第二十二回帝國議會 關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第九回

會議

明治三十九年三月二十二日午後一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

栗原 亮一君	波多野傳三郎君	駒林 廣運君
菊池 九郎君	七里 清介君	內山 吉太君
佐藤 虎次郎君	大井 卜新君	山本 悌二郎君
佐藤 伊助君	荻野 芳藏君	川真田德三郎君
宮崎 榮治君	森本 駿君	大津 淳一郎君
星 松三郎君	神崎 東藏君	島田 三郎君
濱口 擔君	福島 宜三君	藤 金作君
東尾 平太郎君	石谷 傳四郎君	武市 庫太君
菊池 武德君		

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 阪谷 芳郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君 大藏書記官 山崎四男六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

○委員長栗原亮一君 會ヲ開キマスガ、條ヲ逐ウテ往キマスカラ、修正ノ動議ガアレハ其時ニ方テ御出シニナリマスヤウニ……

○福島宜三君 其前ニ外一件トシテ付託セラレタモノヲ御極メヲ願ヒタイ、其贊否ニ依ッテ十二條ヲ働カスル意見ガ有ル

○委員長栗原亮一君 ソレハ十二條ニ入ッデカラデドウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○福島宜三君 ソレデハ私ハ此討論ニ入ル前ニ、政府委員ニ大體ニ付イテ質問シタイ、聞クガ如シバ、此稅率ガ現在ノ協定稅率ノ範圍内ニ入ルヤウニナツタ場合ニハ、政府ハ關稅定率ノ關稅案ヲ撤回シテモ同意セラレヌト云フコトヲ聞キマシタガ、果シテサウデアリマスカ、ドウカ承ッテ置キタイ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今ノ御尋ハ抽象的ノ御尋デアッテ、チヨット御答ガ出來兼ネマスガ、政府デハ原案ヲ出シマシタ以上ハ、原案ヲ以テ適當ナル規定ナリト考ヘテ居リマス、此修正ノ結果デ、若シ其物ニ協定稅率ガアルシテ、其以下ニナツタナラバドウスルカト云フ御尋ハ、其物ヲ見マセヌト、其物が原料品カ何カデ、ソレヲ使ッテ、外國ニ輸出スル物デアッテ、サウ云フ御議論ガ出レバ、政府ハ熟考シナケレバナリマセヌ、絶對ニ茲デ協定稅率以下ニナレバ、原案ヲ撤回スルコトニ考ヘテ居ルトハ申上ゲ兼ネマスガ、原案ヲ提出シタ以上ハ、原案ヲ適當ナリト、ドコマデモ政府ハ信ジテ居リマス

○森本駿君 最早意見ヲ述ベテ差支アリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 條ヲ逐フテ往キマス、第一條原案ニ異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第二條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第三條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第四條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第五條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第六條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第七條

○森本駿君 第七條ノ二十ト云フ次ニ一項ヲ新ニ加ヘタイ意見デアリマス、ソレハ二十一トシテ、「國府縣市町村其他ノ公共團體ノ輸入スル種馬種牛及種豚」此箇條ヲ一項加ヘマシテ、此種馬、種牛、及種豚ニ限ッテ、國府縣市町村其他ノ公共團體ニ於テ輸入スルモノハ、免稅ノ部類ニ入レタイ考ヘデアリマスカラ、此一項ヲ茲ニ加ヘテ免稅ヲシヤウト云フ考デアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 森本君ノ修正動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○森本駿君 スルト修正通可決致シマス、此際チヨット大藏大臣ガ出席サレマシタカラ御質問アレバ……

○波多野傳三郎君 國務大臣ノ御出席ヲ幸ニ、少シク過日モ御尋ネ申シタカ、此際又御尋ネシタイと思フ、ソレハ他ノ國ト互惠條約ヲ結ブヤウナ御考ガ既ニアルカ、若シアルトスレバ、何ニカ着手サレテ居ルカ、一例ヲ舉ゲルト、亞米利加ノ殆ド特產ト云ッテモ宜イ、小麥、小麥粉ト云フモノノ如キ、我國ノ特產ナル絹織物ノヤウナモノヲ、互ニ條約ヲスルト云フ、斯ウ云フコトノ如キハ、將來日本ノ貿易政策トシテ頗ル當ヲ得タモノデハ無イカト思ヒマスルガ、政府ハ其點ニ付イテ何ニカ着手サレテ居ルカ、未ダ着手サレバトシテモサウ云フ類例ノコトヲシタイト云フ希望ヲ持ッテ居ラル、カ、ト云フコトガ一ツ、今一ツハ此滿洲ニアル租借地、是トノ貿易關係ハ、即チ此關稅ハ如何ニセラル、カ、租借地ト云フ名ハアルモノ、我内地ト殆ド同一デアルカラ、此間ニハ關稅ノ名目ハ設ケラレヌト云フ考デアリマスルカ、或ハ既ニ其考ガアリトスレバ、其事ヲ實行セラル、積デア

ルカ、此二點ヲ御尋ネシタイ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今波多野サンカラ、大藏大臣ニ御尋ニナタコトハ、總テ大藏大臣ト相談致シマシテ、其問題ニ付イテハ、前ニ私ノ答ヘタコトガアリマスカラ、大藏大臣ノ旨ヲ受ケテ、私カラ御答シタガ便利ト思ヒマスカラ、私カラ御答致シマス、外國トノ互惠條約ノ利害、是ハ餘程重大ノコトデ、前回ニ於テモ、御答ヘ申上ゲタ如ク、協定稅率ト云フモノハ、決シテ尤ナルモノトシテ採ラナイト云フヤウナ政策ハ、國トシテ採ルベキモノデナイ、物ニ依ッテ我國モ利シ、又彼ノ國モ利スル時ハ、互惠條約トシテ決シテ惡ルイコトデハアリマセヌガ、其事タル大變利害ガ大ナルモノデアリマスカラ、ソレハ即チ豫算ニ求メタル關稅調查費ト云フモノガアル、ソレデ十分ニ研究シテ、其上デ意見ヲ定ムルト云フコトデ、今日ドウ云フ計畫ヲ立ツルト云フマデニハ、マダ進シテ居リマセヌ、其事ハ十分講究ノ材料トシテ研究スル事ニナッテ居リマス、ソレカラ租借地ノ法律關係ハ外務省ニ於テ、十分審査サレテ、サウシテ極メラレタ上ニ、政府ガ是ニ對スル、チャント一定ノ考ヲ付ケナケレバナリマセヌガ、滿洲ノ事ニ付イテハ、目下イロ／＼經營ニ付イテ講究中デアリマスノデ、唯今茲デハハッキリシタ、斯ウ云フコトニナッテ居ルト云フコトハ、御答シ兼ネマスル、但シ大連ガ完全ニ日本ノ法律ガ行ハル、コトニナルト、關稅定率モ行ハル、コトニナルハ無論デアリマスガ、日本法律ガ行ハレテモ、稅關ノ性質上、自由港ニナレバ自由港ハ内地デモ外國ト見ナケレバナラヌノデ、大連ガ若シ自由港ニナレバ、稅ヲ取ルコトハ出來ヌノデアリマシテ、此滿洲ノコトハ、一ツ方針ヲ定メヌケレバナラヌ點デアリマシテ、目下各省デ協議ヲ盡シテ居ルノデ其結果ニ依ッテ、方針ガ定マラヌト、ハッキリシタ御答ハ出來兼ネマスノデアリマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 私ノ意見モ、唯今若槻政府委員カラ御答辯シタ通デアリマス

○宮崎榮治君 政府委員ニチヨット御尋ネ致シマスガ、森本君カラノ御修正デ、二十一項ヲ加ヘルコトニナリマシタガ、北海道アタリデモ、輸入スルモノモアラウト思フガ、サウスルト國府縣ノ間ニ北海道ノコトモ含マセタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、他ノ法律ノ文例ナドハドウデゴザイマスカ、矢張北海道ト云フコトヲ入レタモノガアリマスカ、入レナクテ此内ニ含蓄サレタ方ガ宜シウゴザイマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 ソレハ外ノ法律ニ、公共團體ヲ指定スルヤウナ場合ニハ、北海道廳ヲ入レタモノハゴザイマセヌ、北海道廳ト云フモノガ、公共團體ガアリマスカラ、其他ノ公共團體ト云フコトニ這入リマス、又北海道廳ガ國ノ機關アルナラ、國ト云フコトノ方ニ這入リマスカラ、矢張北海道ニ輸入スルモノハ、免稅ニナル、而シテ政府ハドウ云フ解釋ヲスルト云フ御尋デアリマスカラ、矢張國ニ輸入スルモノト見テ免稅スルコトニナリマス

○委員長栗原亮一君 第八條ニ移リマス

○森本駿君 第八條ノ「六箇月以内ニ再ビ輸出スルモノニハ」トナッテ居リマスガ、是ヲ一箇年ニ再ヒスルモノニハ」ト斯ウ修正致シタウゴザイマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 此修正ニハ御異議アリマセヌカ——ソレデハ一箇年ト云フコトニ修正ニナリマシタ——第九條ニ移リマス

○大津淳一郎君 是ハ今ノ第二項ト云フモノヲ、第三項ニシテ、第二項ヲ茲ニ挿入シタイ、其文案ヲ讀ミマセウ、「輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタル時ハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ云フコトヲ、二項トシテ、サウスレバ現在ノ二項ハ三項ニナッテ、「詐偽又ハ不正ノ所爲ヲ以テ前項」トアルトコロニ前「二項ト云フ」ニ「ノ字ヲ入レルコトニシタイ

○福島宜三君 第九條ノ後トニ二項ヲ多クスル場合ハ贊成デスガ、チヨット御尋シテ置キタイノハ「此輸入原料品ヲ用井」云々ノ中ニ、今ノ支那朝鮮等ハ輸出ヲ致シマス賣藥、アレハ唯今輸出稅ハ免除サレテ居リマスカ、又是ニハ戻稅ヲ御ヤリナサルト云フ御考ハ、政府ハ持ッテ居リマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今御尋ネニナリマシタ賣藥等ハ、原料品ヲ以テ拵ヘタモノガ、大部分、或ハ全部、外國ニ輸出セラル、ヤウナ品物デナイモノデアリマスカラ、サウ云フモノニ付イテハ、九條ヲ適用スル考ハ持チマセヌ

○委員長栗原亮一君 大津君ノ修正動議ニ異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハサウ決シマス、第十條

○森本駿君 第十條ノ「一阿片及吸煙具」ト云フノガアリマスガ、此吸煙具ノ下ニ、括弧デ(政府ノ輸入スルモノヲ除ク)ト云フ文字ヲ加ヘタイト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 御異議ナケレバ、其通修正ヲシマス——第十一條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 御異議ナケレバ第十二條——第十二條ニ關聯ヲシテ、明治三十三年法律第八十六號中改正法律案ト云フモノガ、本委員會ニ付託ニナッテ居リマスカラ、此場合ニ合セテ之ヲ議題ニ供シマス

○森本駿君 此改正法律案ヲ、此十二條ヲ議スル先キニ、議ニ付シテ、サウシテソレデ差支ナケレバ、是ニ付イテ意見ヲ言ヒタイト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 宜シウゴザイマス

○森本駿君 明治三十三年法律第八十六號中改正法律案ハ、内山君外三名ノ提出デシテ、サウシテ關稅定率改正法律案ノ委員ニ過日付託ニナッタデアリマスガ、是ハ斯ウ云フ案デス、明治三十三年法律第八十六號中左ノ通改正ス「鹹魚及燻魚ニ對シ」ノ下ニ「明治三十年法律第十四號ヲ削ル」ト云フノデ、簡單ナ案デス、意味ハ丁度今議シツ、アッタコロノ關稅定率法改正案ガ可決ニナルト云フト、關稅定率法ト云フモノハ、從前ノハナクナッテシマッテ、新關稅定率法ガ換ルコトニナル、然ルニ明治二十三年ノ法律第八十六號中ニ、關稅定率法ト云フ簡單ナ文字ニ書ズシテ、明治三十年法律第十四號ト云フ字ガ書イテアル、サウシテ聯帶シテ申上ゲテ置キタイノハ、今度改正案ノ第十二條ニ「及第八十六號」ト云フ字ガ削除ノ方ニ決定セラル、ト云フコトニナリマス、若シ此處デハ八十六號ト云フモノガ削除ノ方ニ決定セラル、ト云フコトニナリマス、關稅定率ト云フモノガ、新ラシキ關稅法ニナッテ、舊關稅法ハナイトセラル

ルニモ拘ハラズ、明治三十二年法律第八十六號中ニハ、關稅定率法ノ上ニ、明治三十二年法律第十四號ト云フ字ガアル結果トシテ、舊關稅定率法ヲ認メマスコトニナリマスカラ、先ヅ明治三十二年法律第十四號ヲ削ラレテ居レバ、此法律ノ中ニ於テ關稅定率法ト云フ文字ダケガアデ、新タラシイ關稅定率法ヲ誤ラヌト云フ結果ニナルヲ思ヒマスカラ、ソレデ此議案ハ私ハ通過ヲ希望シマスノデアル、成ルベク諸君ノ御贊成ヲ得テ、此八十六號中改正法律案ノ可決ヲ希望シマス

○委員長栗原亮一君 御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ茲ニ出テ居リマス改正法律案ガ可決セラレマシタ譯デアリマス

○森本駿君 第十二條ニ付イテ「米及初輸入稅ヲ除クノ外」フ文字ヲ削除シタイト思ヒマス、ソレハ非常特別稅法ニ於テ、米及初輸入稅ヲモノニ輸入稅ガ從價一割五歩掛ツテ居ル、然ルニ此別表ノ中ニ規定シテアルトコロノ、米及初輸入稅ヲモノガ無稅ト云フコトニナツテ居リマス、ケレドモ米及初輸入稅ヲモノハ、無稅トセズシテ、從價一割五歩ト云フ非常特別稅率ヲ別表ニ直チニ移スト云フ條件ノ下ニ、「米及初輸入稅ヲ除クノ外」ト云フ字ヲ削除シ、而シテ唯今可決セラレタコロノ案ノ結果トシテ、「及第八十六號」ト云フ字ヲ削除シタイ考デゴザイマス、ソレデ便宜ノタメニ申シ上ゲマスガ、「及第八十六號」ノ削除說ニ付イテ決議ヲ採ラレ、「米及初輸入稅ヲ除クノ外」ト云フ決議ヲ別ニシテ貫ツタ方が便利ヲラウト思ヒマス、曩ニ及第八十六號ト云フコトノ削除說ヲ決セラレテ、ソコデ後ト戻リシテ、米及初輸入稅ヲ除クノ外ト云フ方ノ決議ヲセラル、コトヲ希望シマス

○委員長栗原亮一君 ソレデハ其通り「及第八十六號」ト云フ方ハ、別ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 是ハ其通決シマスガ「米及初輸入稅ヲ除クノ外」ト云フ、是ニハ少シ議論ガアリマスカラ……

○島田三郎君 是ハ兩方トモ贊成者ガアリマスガ、私ハ不同意ヲ唱ヘマス、此米及初輸入稅ト云フモノ、成立チマシタノハ、十分ニ研究ヲシナイデ、戰時稅ト云フコトデ成立ツテ、其時ニ大分戰時稅トシテハ餘議ナイモノデアルガ、全體ノ性質ニ付イテハ不同意デアルト云フコトデ、ソレガタメニ成立ツタノデアル永久ノ性質ヲ持ツテ居マス、是ハ尙稅法調査會——稅法調査會ト云フモノガ成立ツカ成立ヌカ不明デアリマスケレドモ、兎三角政府ノ意思ヲ誤解セラレタ如ク、全體ノ戰時稅ヲモウ一通調査スルト云フコトデアルカラ、此事ハノケタイ、ソレヲ永久ニ取ルベキモノ、中ニ入レテ改正スルト云フノハ穩カデナイト云ノデ、殆ド確定シタ如ク提案者ハ述ベラレマス、ケレドモ是ハ一大議論ノアルコトデアリマス、唯今ニ於テ不同意ノ理由ヲ述ベヨトナラバ述ベマスガ、兎三角必要ノアル理由ヲ承ルノガ、便利デアラウト思ヒマスカラ、其理由ヲ承リタイ

○委員長栗原亮一君 島田君ノ御說ニ贊成者ガアリマスカ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ辯論ニ……

○東尾平太郎君 是ハ滿場一致デアルト思ヒマシタラ、意外ニモ反對ガアリマス、是ハ地租ヲ増徴スルカラデ、今日ニ至ツテハ財政上カラ、國庫ノ收入ニモ必要ガ起リ、又副產物ノ上カラ言ツテモ、輸入稅ニ課スルノガ相當ト思ヒマスカラ、私ハ修正案ヲ贊成致シマス

○藤金作君 私モ反對デス、理由ハ東尾君ガ述ベラレタ譯デゴザイマスガ、然ルニ若シ此米及初輸入戰時稅ノ位置ニ置カズシテ、本來ノ關稅ニ引直スナラバ、反對スルト云フ島田君ノ御說デゴザイマスガ、是ニ於テ贊否ノ討論ガアリマスレバ、私ハ大イニ述ベル材料モ持ツテ居マス、併ナガラ最早此案ニ對シテハ大勢既ニ極マツタコト、思ヒマスカラ、島田君ガ御名論ヲ御述ベニナレバ、已ムヲ得ズ私モ訥辯ナガラ、事實ノ道理上、經濟上、國產ノ關係上、十分議論スル積デゴザイマス、ソレデハドウカ茲ニ於テ三時間ヲ……

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○島田三郎君 貴重ノ問題ヲ採決々々デ進行ヲ促スト云フコトハ、國民ニ對シ、竝ニ議會ニ對シテ、濟マヌコトデアラウト思ヒマスカラ、本員ハ茲ニ其理由ヲ述ベマス、全體米及初輸入修正ニ向ツテ、既ニ確定シタ如キ態度ヲ執ラル、ト云フコトハ甚ダ心得ヌ、頭數ガ十分カラト云フコトデ、本員ガ此議論ヲ止メルコトハ出來マセヌ、今日日本ノ國情ニ於テ、米ノ輸入ヲ防グト云フコトハ、甚ダ不良デアル、例ヘバ今年ノ如キ大イニ本員ハ感ズルノデアリマスガ、奥羽邊ガ米ガ稔ラヌト云フコトデ、慘憺タル現象ヲ呈シテ居リマス、ソレハ何ノタメデアルカト云ヘバ、米ヲ以テ唯一ノ產物ト賴シテ居ルガタメニ、是ノ如キ慘狀ヲ呈スルコトデ、不幸ニシテ鎖國時代デアッタナラバ、幾萬ノ死者ヲ出シデアラウカト思フ、殊ニ今日ハ内ニ乏シイト云フコトデ、外ヨリ米ガ這入ル、其慘狀昔日ノ如クナラザルモノハ、全ク輸入米ノ力デアル、ソレカラ推シテモ、日本ノ地勢ニ於テ、竝ニ氣候ニ於テ、米ヲ賴モシキ唯一ノ產物トシテ、其米ヲ作ルトコロノ地面ヲ持ツテ、人ノ利益ノタメニ米ノ輸入ヲ防ガウト云フコトハ、頗ル爲シ難イコト、思ヒマス、本員ガ知リ得ルトコロノ事實ニ依リマスルト、米ハ農家ノ利益ト言ヒマスガ、其農ト云フモノハ、大抵中農以上ノ利益ニナルコトデ、中農以下ニ至ツテハ、自分デ作ツタ米ヲ、半分デ食シテ其餘ヲ賣出ス餘地ガアリマセヌカラ、米ヲ賣ル人ハ利益デアリマスケレトモ、中農以下ハ決シテ高イノヲ以テ、利ト認メマセヌ、況ヤソレヨリ以下ノ者ニ至ツテハ、如何ナル村落ニシテモ、決シテ米ノ高キヲ以テ、利益ト致シマセヌ、皆米ノ高イト云フコトニ付イテハ、非常ナ困難ヲ感シテ居ル、若シ米ガ一石ニ付イテ、一圓高クナルトスレバ、五人ノ人口ニ付イテ一家ガ、年ニ五圓ノ稅ヲ拂ヒ、二圓高ケレバ十圓ノ稅ヲ拂フコトニナルカラ、苛酷ナ稅ヲ拂フコトニナリマス、農、農ト云ハレマスケレドモ、農家ハ副產物ヲ持ツテ居ナケレバ間ニ合ハヌ、今日日本ノ農家ハ米ニアラズシテ、副產物デ其力ヲ養フテ居ルノデアル、若モ今日ノ形勢ヲ察シタナラバ、米ヨリモ副產物ノ輸入ヲ防グト云フノガ、日本ノ發展ノタメニ有效ナル事柄デアル、日本ハ米ノ高イノヲ以テ利スルト云フモノハ、極メテ少數デ、唯大ナル地面ヲ持テ、米ヲ賣出ス人ハ便利デアリマスケレドモ、其他ノ者ハ、德ヲ致サレバ損ヲスル、例ヘバ近傍ノ地方ニ於テ徵シテ見テモ、山梨縣ノ郡内——埼玉縣ノ奥ノ方ニ至リテハ、秩父絹ヲ出シ、郡内カラハ絹ヲ出シテ居ルガ、皆米ハ買ツテ居ル、日本ハ年々五十萬、若クハ五六十萬ノ人口ハ増加シツ、アルガ、米ハ割合ニ増加シナイ、近來領

土ナリシ臺灣ノ如キ米ハ、二度取レルガ、一度取テハ他ノ農産ヲ廢スヤウナ工合デ、ズト南ノ暖國カラ米ガ這入ル、是ヲ日本ノ米ト抵抗シヤウト云フタメニ、稅法ヲ設ケテ、内地ノ高イ米ヲ入レサセヤウト云フノハ、甚ダ不得策アル、又中國、九州、四國ナドハ氣候ノ故カ、比較的米ガ不十分ナル、不十分デモ與羽ノ如キ悲惨ノ狀況ヲ呈セヌノハ、副産物ガ多ク出ルカデアル、然ラバ米ガ高クナッタラ、今マデ小作ニシテ居タ者ガ、或ハ石炭ヲ掘ルトカ、燐寸ヲ製造スルトカ、或ハ花莖ヲ織ルト云フヤウニナリマスカラ、金位ガ上ツテ、地主ハ小作料ヲ多ク得ルコトガ出來ズ、小作人ハ小作料ガ上ルト云フコトデ、頗ル不利益デゴザイマセウケレドモ、一般ニ日本人ノ多數ハ、之ニ依ツテ餘力ヲ得ルノデゴザイマス、奥羽ノ稔ラズシテ、是ノ如キ慘狀ヲ來スハ、吾々ハ斯樣ナル場合ニ、副産物ガナイカラデアルト認メテ居ル、ソレヲ是ノ如クニシマシタナラバ、五年ニ一回、若クハ七年ニ一回稔ラザル年ガアルトシタナラバ、其度毎ニ本年ノ如ク慘澹タル形勢ガ起リハセヌカ、生活費ガ上ツテ副産物ガナイタメニ、貯蓄ト云フコトハ出來ズ、其年ニ取ツタモノハ直グ其年ニ使テシマヒマスカラ、一朝稔ラザルコトガアルト、非常ノ慘害ヲ受ケルヤウニナル、然ルニ今日ノ國庫、年々五十五、六萬殖エル我國ニ於テハ是ノ如キコトハ、一變シナケレバ、此慘害ハ免カレマイト本員ハ思ヒマス、假ニ一石ニ付キ一圓高クナルトスレバ、五人ノ人口ノアル一家ハ、五圓ノ稅ヲ取ラレ、二圓高クナルト十圓ノ稅ヲ課セラル、コトニナルノデゴザイマス、畢竟之ヲ國稅ノ中ニ入レテ、米ヲ保護シヤウ、初メ保護シヤウト云フノハ、以前ノ鎖國的精神ノ遺物デアルト思ヒマス、若シ是ノ如キ鎖國的精神ノ遺物ヲ廢スルコトガ氣ノ毒デアルト云フナラバ、士族ヲ廢スルモ氣ノ毒デアル、華族ヲ廢スルモ氣ノ毒デアルト云ツテ、終ニハ大名行列マデモ許スト云フヤウニナル、此評ハ決シテ諧謔の評ニアラズシテ、眞實ノ言デアル、本員ノ聞クトコロニ依ルト——相馬領ノコトニ付イテ、最モ適切ナル實例ガアル、相馬領ハ、由來米ヲ以テ主トシ他ノモノヲ作ラヌト云フ制度デアッタ、即チ桑ヲ植エルトカ、ナントカ云フコトハ、土地ヲ無益ニ使フト云フヤウニ考ヘテ居ッタ、併シ其時代ニハマダ外國カラ食物ノ入ラナイ時デアッタカラ、其土地ノ保護ノミノタメニ、ソレガ必要デアッタカモ知レヌガ、ソレガタメ相馬領ハ、専ラ米ヲ產出シテ居リマシタ、然ルニ此時勢ノ進歩ニ從ヒ、十八年頃カラ絹ヲ織出スコトガ始マリ、其絹ノ材料トシテ桑ヲ植エ絲ヲ取ルト云フコトニナツタタ、然ルニ相馬郡ノ隣リノ二葉郡ハ、元ハ檜葉標葉ノ二郡ヲ合シテ出來タノデゴザイマスガ、相馬郡ノ如ク、農産物ヲ作ツテ、副産物ヲ作ツテ居リマスカラ、本年ノ如キハ慘害ヲ被リマシテ、相馬郡ノ方ハ近接シテ居リナガラモ、ソレ程ノ害ヲ受ケマセヌノニ、二葉郡ノ方ハ米ヲ得ル餘力ガナイタメニ、非常ナル害ヲ受ケテ居リマス、是ハ實例デ確實ナル話デゴザイマス、若シ其話ヲシタ人ノ名ヲ言ヘト云フコトナラバ、言ヒマスガ、ソレハ實デゴザイマス、ソレカラ尙此委員ノ中ニハ、必ズ東北ノ御方モアリマセウカラ、私が申スマデモナク、形勢ヲ御承知デゴザイマセウガ、本年奥州ノ稔ラザルコトコロノ二縣ノ形勢ヲ見マスルト、福島縣モ、宮城縣モ、殆ド同一ノ程度ニ害ヲ受ケテ居リマスケレドモ、福島縣ノ方ガ、宮城縣ヨリ慘害ノ度ガ少イト云フコトデアル、ソレハナセカト云ヘバ、宮城縣ノ方ガ福島縣ヨリモ副産物ノ發達ノ程度ガ低イカラデアル、サウシテ見マスルト、斯樣ナル場合ニ於テ、副産物ノ發達シテ居ル處ハ、生活ノ程度ガ高ク、米ヲ得ル資力モアルガ、副産物ノナイ處ハ、米ヲ得ルコトモ出來ナイト云

フ虞ガゴザイマス、若シ米ヲ輸入スレバ供給ガ多クナツテ困ルト云フコトデアルナラバ、近來臺灣ニ米ガ出來テ内地ニ來ル、是等モ防ガナケレバナラナイ、又農産物ガ北海道ニ發達シタト云フト、是モ供給ガ多クテ困ルト云フコトニナル、朝鮮モ段々日本人ガ往ツテ開ケ、定期航海船モ出來、連絡ノ汽車モ往來スルコトニナレバ、朝鮮ノ農産物モ這入ツテ日本ノ農工業ニ恐慌ヲ起スト云ツテ憂ヘタナラバ、ソコカラ來ルモノヲ防グタメニ、特別ノ稅ヲ取ラナケレバナラヌト云フヤウナ政策ヲ執ラナケレバナラナイヤウニナル、左様ナコトヲスルト日本ノ國力ヲ發展スルト云フコトハ、到底求ムルコトガ出來ナイ、勿論或場合ニハ朝鮮トモ競争スル必要ハアル、滿洲ノ農産ガ盛ニ日本ニ來ルト云フコトニナレバ、此方ハ工産物ヲ向フヘヤルト云フヤウナ政略ヲ執ルガ宜イ、茲ニ於テ初メテ日本ノ發展ハ望ムベキデアラウト思ヒマス、是ノ如キ理由ヨリシテ、一部ノ人ノ舊來ノ利益ヲ保護セシガタメニ、斯カル修正スルコトニ同意スルコトガ出來マセヌ、本員ハ是マデ政府提出ノ案ニハ、多ク賛成ヲ致シマセヌノデゴザイマシタガ、此事ニ付イテノミハ、原案ヲ適當ノモノトシテ、修正ノ案ニハ斷然本員ハ反對致シマス

○東尾平太郎君 今島田君ノ反對演說ヲ伺ヒマシタトコロ、島田君ハ有名ナル學者デアルト思ツテ居タトコロ、案外淺薄ナル御議論デアアル、米及粳ニ課稅スルハ封建ノ遺物デアルト、島田君ハ嘗テ英國ニ留學セラレタノデアアルガ、今ノ議論ハ單ニ英人ノ糟粕ヲ舐メタ議論デ、文明國ノ穀物ニ對スル方法ニハ更ニ合ハナイ、今日日本デ米及粳ニ對スル課稅、百斤六十錢位ハ決シテ差支ナイ、歐米ノ文明國デハ、百斤一圓三十錢モ取ツテ居ル處ガアル、決シテ封建ノ殘物デモナンデモナイ、現ニ英國デモ、加奈陀デモ、小麥ニ六十七錢、佛蘭西ハ一圓六十八錢ノ稅ヲ取ツテ居ル、小麥ハ日本ノ米ト同ジ位ノモノデアアルガ、サウデアアル、又伊太利デハ一圓八十錢、獨逸デハ一圓五十錢、澳太利ハ九十錢デアアル、サウスルト島田君ノ議論ノ如ク封建ノ遺物デアルト云フヤウナコトハ愚論ト云ハナケレバナラヌ、今日ノ國家存在スルモノ一品一物稅ノ課カラナイモノハ一モノナイ、又島田君ハ勞役者ガ困ルト云フケレド、ソナナコトモアリヤウガナイ、今日勞役者ハ其勞役ノナイコトヲ憂ヘテ居ル、勞役サヘアレバ決シテ何ニモ憂フルコトハナイノデアアル、島田君ハイツマデモ英國ノ保護貿易ノ夢ヲ見テ居ルノデアツテ、ソレガ正當ノ議論デハナイ

(「採決々々」ト呼ブ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ドウデス、モウ採決シテモ宜シウゴザイマセウカ——ソレデハ採決致シマス、島田君ノ原案維持說ニ付イテ贊成ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數デゴザイマス、ソレデハ「米及粳輸入稅ヲ除クノ外」ト云フダケ、本條ヨリ削ルト云フ修正ノ動議ガ成立致シマシタ、ソレデハ稅目ノ方第一類ヲ、議ニ附シマス

○森本駿君 第一類ノ中ノ「三」ト云フコトコロニ、「牛」ト云フノガアリマス、是ハ原案ハ「從價五分」ト云フコトニナツテ居リマスガ、法文ニ於テハ、第七條ノ末ニ、種牛種馬及種豚ト云フモノハ、年稅ノ部類ニ這入リマシタ、サウスルト殘ルトコロノ牛ハ、多ク肉用ニ使ワレルモノデアラウト信ジマスカラシテ、既ニ種牛ガ年稅ノ部類ニ這入ツテ居ルトスレバ、是ハ一割ト云フコトニ修正致シタイ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 ヲレデハ其通決シマス、第二類ヲ議ニ附シマス

○森本駿君 此「米及粉」ハ法文ノ第十二條ノ今ノ修正ト聯帶シテ居リマス問題デアリマス、既ニ「米及粉」輸入税ヲ除ク外「ト云フ」字ガ削除ニナリマシタ以上ハ、此處ニ税率ヲ記入致シタイノデアリマス、其記入スベキ税率ハ、非常特別税ニ書イテアル、其税率ヲ其儘ニシテ、「無税」ト云フ「ト云フ」從價一割五分「ト修正」シタイ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○東尾平太郎君 ヲレト趣意ハ變リマセヌガ私ハ「每百斤六十四錢」ト修正シタイ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○佐藤虎次郎君 是ハ矢張一割五分ノ從價税ノ方ガ宜シ

○藤金作君 私ハ從價税デ宜カラウト思ッテ居リマシタケレドモ、調査シテ見マス總テノモノガ從量ニナッテ居リマス、現在ノ定價ヨリ割出シマシテモ差支ナイヤウデゴザイマシテ、精神ガ違ヒマセヌカラ、私ハ六十四錢ニ贊成シマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 ヲレデハ一割五分ト云フコトニ付イテハ、多數デアリマスガ從量ノ六十四錢ハ是デ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 ヲレデハサウ云フコトニ決シマス

○森本駿君 隨テ十一、大麥ノ「每百斤」ト云フ字ハ、米及粉ノ「コロデ」每百斤トナリマスカラ、「每百斤」ヲ「同」ト修正ニナルヤウニシタイ

○委員長栗原亮一君 ヲレハ自然ノ結果デ仕方ガアリマス、第二類ハ外ニアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 ヲレデハ第二類ニ移リマス

○森本駿君 第三類ノ二十七「茶」ト云フ部類ニ「二紅茶粉」ト云フノガアリマス、此紅茶粉ト云フ下ニ「從價二割五分」トアリマス、ノ「每百斤二圓七十錢」ト修正スル精神ヲ以テ、此法文ノ上ニハ前項ガ每百斤トナッテ居リマスカラ、「同二圓七十錢」ト修正ヲ致シタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

○森本駿君 是ニ於テ政府委員ノ御意見ヲ聞キタイト思フノデアリマス、此紅茶粉ハ露西亞ニ對シテ輸出スルコロ「磚茶」原料トナッテ居ルモノト存ジマスガ、政府ニ於テハ「ソレガ磚茶」原料デアラナラバ、第九條第一項ニ於テ「輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル物品ヲ製造シテ外國ヘ輸出シタルトキハ命令ノ定メル所ニ依リ輸入税ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得」ト云フ、此項ヲ適用シテ、磚茶ノ原料トナル紅茶粉ニ對シテハ、命令ヲ指定セラル、物品ノ中ニ、紅茶粉ト云フモノヲ指定スル「ト云フ」御見込

ニナッテ居リマス、如何ト云フコトヲ此處デ明言シテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員若槻禮次郎君 唯今ノ御尋ハ、磚茶ト云フノハ内地デハ殆ド供給シマセヌデ、總テ外國ヘ出シテ其原料ニ紅茶粉ヲ入レテ、之ヲ造リテ外國ヘ出スト云フノデアリマスカラ、是ハ政府ノ計畫モ矢張九條ニ依ッテ、戻税ノ制度ヲ取ル積デアリマス

○森本駿君 矢張自然ノ結果デアリマスガ、紅茶粉ノ次「三其他」ト云フ下ガ、「同四割五分」トナッテ居ルノヲ從價トシタイ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長栗原亮一君 ヲレデハ第四類、砂糖及糖果類

○森本駿君 第四類ノ四八「砂糖」此內譯ノ「二和蘭標本色相八號以上十五號未滿」モノ「同二圓二十五錢」ト斯ウナッテ居リマス、ノ「二圓五十錢」ト修正スル「ト云フ」意見ヲ提出シマス

○大津淳一郎君 是ハ反對ヲ致シマス、其理由ハ内地ノ砂糖及臺灣ノ砂糖ヲ保護スル「ト云フ」趣意デアルト思ヒマスケレドモ、糖業保護ニ付イテハ、臺灣ハ臺灣「別ニイロ」ノ心痛ヲシテ居ラル、ヤウニ見エマスガ、内地ニ於テハ大島モ、沖繩モ、小笠原島モ、國庫ノ支出ヲシテ改良ヲナサシメテ居ルノデアリマス、而シテ現在ニ二種ニ屬スルモノ、出來ナイノハ、マダ第一種類ノモノ、需用ヲ充ス程度シカ、内地ノ糖業者ハ發達シテ居ラナイノデアリマスカラ、今日ニ於テ別ニ關稅法ヲ以テ、糖業獎勵ト云フコトヲセズトモ、今少シ時機ヲ待ツタナラバ、内地ノ獎勵ト云フ方ハ、十分出來ヤウト思ヒマス、故ニ今此處デ二種ト云フモノ「二圓五十錢」トスル「ト云フ」コトハ、誠ニ意味ノナイモノト思ヒマスカラ、原案通テ差支ナイト私ハ考ヘテ居リマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○福島宜三君 此事ニ付キマシテハ、先刻ナリ、此間ナリ、段々山本君ノ御話ヲ承ッテ、私共モ此事ガ分タノデアリマスガ、殊ニ二十五錢ヲ加ヘル「ト云フ」ガ殆ド無意味ニナル、ナゼナラバ山本君ノ言ハル、如ク算定ノ上カラ往ケバ、之ニ七十五錢ヲ加ヘテ三圓トシ、四圓五十錢トシ、五圓トスル「ト云フ」初メテ二種ノ砂糖ガ算數ノ上ニ於テ對抗シ得ラル、算盤ニナルノデアル、シテ見ルト二十五錢位加ヘタノハ、内地ノ産業ヲ保護スル事實ニナラズシテ、却ッテ高イ砂糖ヲ消費者ニ買ハセルヤウニナル、故ニ二十五錢ヲ無意味ニ上ゲルノハ、糖業者ヲ苦メルダケテ、内地ノ産業ノ保護ニナラヌト思ヒマスカラ、反對ヲ致シマス

○東尾平太郎君 政府ハ是ニハ御同意ニナッタノデスカ

○政府委員若槻禮次郎君 政府ハ原案ヲ提出シテ居リマスカラ、原案ガ無論宜カラウト思ヒマスガ、併ナガラ全體ノ仕組ガ、粗製品、半製品、精製品、ト云フ「ト云フ」段階ガ違ヒマス、唯今發案ニナツタモノヲ、從價ノ方ニ換算シテ見マスルト、丁度四割五分ニ當リマス、サウスルト「一ノ方」ガ四割デ、「二ガ」四割五分、「三、四ガ」五割トナリマスガ、其階段ハサウマデヒドク違ッタ階段トハ思ヒマセヌ、原案ノ四割ト云フ「ト云フ」發案シテ居リマスカラ、原案ヲ希望致シマス

○島田三郎君 此案ヲ質問ノトキモ、本員ハ申シタノデスガ、政府ハ六月以後ニ漸次増稅ヲスルト云フコトデスガ、是ハ見越輸入ノ氣遣ガアルト云フノデ、前ノ四割デスラ、見越輸入ノ氣遣ガアルデスカラ、意味モ何モ徹底シナイ増加ヲ更ニスルノハ、尙更輸出ヲ多クスル方ニナラヌノデスカラ、今デモ金貨ノ出ルコトヲ氣遣ハル、政府ガ同意セラル、譯ガナイト思ヒマスカラ、是ハ原案ノ儘ガ宜イト思ヒマス

○山本二郎君 私ハ此問題ニ付イテ、暫時御清聴ヲ煩ハシタイト思ヒマスノデ、是ハ此項輸入商ノ側カラ大分反對ガ起リ居リマスノデ、段々印刷物ナドモ廻リ居ルト思ヒマスガ、ソコデ、此輸入稅ヲ是デケ増加スレバ、内地ノ砂糖業ノ保護ニナルト云フ議論ガ一方ニアルト同時ニ、此輸入稅ヲ課セラレテハワレダケ輸入ガ減ルカラ、ソレデハ困ルト云フ議論トハ、利害ガ全ク正反對ニナリ居リマスノデ、從テ此問題ノ御判斷ハ果シテ此輸入ト云フモノガ多クナレバナル程宜イト云フ例ニ耳傾ケベキモノカ、成ルベク輸入ハ止メテ内地ノ出產ヲ保護スル方ノ側ニ御同意デアアルカト云フコトニ歸着スルノデ、ソコデ今大津サンカラ御説デシタガ、臺灣ニ於テハ保護ヲ粗製品ニ向テヤッテ居リマスカラ、是ヲ俄カニ保護スル必要ハナカラウト云フコトデシタガ、私ノ意見ハ反對デアタ事實ニ於テハ糖務局ヲ特ニ置イテ或ハ二種糖ノ生産ヲ盛ニ獎勵シテ居ル、本期ノ議會ニ提出サレタ豫算ニ於テハ、農商務省ハ機械製糖所ヲ拵ヘテ、同ジク新式ノ砂糖ヲ拵ヘルト云フ方針ヲ執リ居ル、是ノ如ク政府ハ官制ノ上ニ於テ、又實際ノ製出ノ上ニ於テ、極力内地ノ黑砂糖ヲ獎勵シヤウト云フ方針ヲ執リ居ルトスレバ、關稅政策ノ上ニ於テモ、同時ニ保護ノ途ヲ執ルト云フノデ、始メテ政府ノ意見ガ貫徹スラウト考ヘマス、一方ニ保護シテ居ルガ故ニ、一方ニ保護スルニ及バヌト云フノハ、十分徹底シナイト考ヘマス、次ニ福島君ノ御説デ、七十五錢程上デレバ瓜哇カラ、輸入スル千二百萬ノ砂糖ト同ジ品物ヲ拵ヘルコトニナルカモ知レヌノデアアルガ、二十五錢デケハ其ノ程度ニ及バズシテ、無意味ノモノニナルト云フ御説デシタガ、一應是ハ御尤デアリマス、私が最初此案ヲ立デマシタ當時ニ於テハ、七十五錢デケ増シテ貫ヒタイト考ヘマシタ、其ノ説ノ起ツタ所以ト、内地ニ今拵ヘテ居ル車糖ト稱スルモノト、現在輸入シテ居ルコロノモノトヲ比較スルト、砂糖ノ分泌ニ於テ、一方ノ瓜哇ノモノハ百分ノ九十六、日本ノ車糖ハ百分ノ八十二、此差ハ百分ノ十二デアリマス、ソレデ車糖ノ製造カラ始メテ、臺灣糖ニ移ラウトスルニハ、一割三分ニ減少スルト云フコトデスカラ、減少デケハ値段ガ高クナレバ引合ハヌコトニナリマス、丁度今日ノ相場ハ十二圓内外ガアリマスガ、其ノ一割三分デケノ値段ガ騰ルトシテ、一圓五十錢程ニナリマスガ、此七十五錢ノ上ニ七十五錢ヲ増シテ貫ヘバ、丁度今日ノ糖ノ粗製ヲ離レテ、瓜哇カラ來ルモノト同ジモノヲ造ルヤウニナラウト云フ算當カラ出タノデアリマスガ、ソレハイロ／＼他トノ消費稅及他ノ輸入稅トノ關係モアツテ、其ノ程度ニ上ゲルコトノ出來ヌヤウナ次第モアルヤウニ考ヘマシタノデ、ソレデ二十五錢ト云フコトニ、私ハ同意致シテ居ルデアリマス、ソレハ何故カト云フト、例ヘバ二十五錢デケノ稅率デハ「ザラメ」ヲ造ルデケノ保護ニハナリマセヌケレドモ、併ナガラソレデケハ確カニ内地糖ノ保護ニナルト云フコトハ、確カデアリマスカラ、無論今日二十五錢上デケ、明年二十五錢ト云フヤウニ上デケ、七十五錢ノ程度マデイケバ、「ザラメ」糖ガ詰リ出來ルマデニ、到看致シマスカラ、急激ナコトハイツモ行ハレ惡イコトニナリマスカラ、今日一段

階ヲ踏ンテ置クノハ、利益ノナイコトデハナイト考ヘテ居ルデアリマス、ソコデ此議論ハ、糖業界全體ノ年來ノ希望デアツテ、サウシテ農商務省、及臺灣總督府ニ於テモ、此議論ハ同ジク年來持ッテ居ラレタノデスガ、唯砂糖ノ關稅デケヲ上ゲテ吳レト云フコトハ、俄カニ言ヒ出サレマセヌノデ、全體ノ改正ノアル時期ヲ今日マデ待ッテ居タヤウナコトデスカラ、幸ヒ今回關稅改正案ガ出マシタノデ、之ヲ機會トシテ、修正案ヲ私ハ實ハ出シテ戴キタイ考デ、此案ヲ森本君ノ御提出ニ贊成スルノデアリマスカラ、若モ疑ヒガアルトシタナラバ、當局者ヲ呼ンデ御聞キ下サルガ一番宜イト思ヒマス、農商務省ノ當局、臺灣ノ當局ヲ呼ンデ御聞キナッテ、果シテ是デケノ保護ガ必要ナルヤ必要ナキヤノ御判斷ヲ極メラル、ノガ、一番適當ト思ヒマス、尙一言シテ置キマスガ、是ハ今日デスラ四割ニナリ居ルニ、五分加ヘレバ、四割五分ノ保護ニナッテ、大變保護ガ高過ギルト云フ御説モアツタヤウニ聞キマシタガ、併シ是ハ獨リ砂糖ニハ限リマセヌ、何デモ内地製造ノ物品ト、外國カラ輸入シテ來ル品物ト對抗スル場合ニ於テハ、決シテ横濱ノ波止場ノ直段デハ競争ハ致シマセヌ、内地ニ參ッテ輸入稅ガ加ハリ、消費稅ガ加ハリ、サウシテ、其價ガ市場ニ現ハレテ來ルノデスカラ、其市場ニ現ハレタ相場デ、保護稅ガ上ニナッテ居ルト云フコトガ、實際ノ問題ニナルノデス、ソコデ今日現價ニ對シテ成程四割五分ノモアリ、或ハ四割ノ保護ニナッテ居リマセウガ、是ニ輸入稅ヲ加ヘ、是ニ消費稅ヲ加ヘテ、實際市場ニ現ハレル相場ノ上カラ、今日ハ幾ラノ割合ニナッテ居ルカト云フト、一割八分ニシカナッテ居リマセヌ、修正案シテ二十五錢ヲ増シテモ、一割九分ニシカナッテ居リマセヌ、他ノ砂糖ノ種類デ、第一等ガ此計算デハ二割一分、第三第四種ガ戻稅マデ計算シテ、現在二割七分、第四カ二割五分デアリマス、最モ砂糖ノ中デ輸入ノ多イトコロノ千二百萬斤輸入シテ居ル第二種糖——日本ノ砂糖問題ヲ解決スルニハ第二種糖第一ニ考ニ入レナケレバナラス、其第二種糖、及比較的一番砂糖ノ中デ、現今保護ガ薄イコトニナッテ居ル、ソレカラ外ノモノニ較ベテ見デモ、例ヘバ石油ノ如キハ、現ニ五割ノ保護稅ニナッテ居リマスガ、相場ノ上デハ幾ラニナルカト云フト三割三分三厘ノ保護ニナッテ居ル、酒精ノ如キハ、是ハ十錢ノモノデ、今政府案ヨリ更ニ引上ゲテ貫ヒタイト云フ説ガアツテ、此説ガ稍有力デアアル、ト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、若シモ是カ成就シテ、本院ノ協贊ヲ得テ法律トナル曉ニハ、輸入稅ニ依ル稅法上ノ保護ガ二割六分ト少シナル、之ニ對シテ今度ノ修正案ニシマシテモ、砂糖ノ第二種ガ一割九分ホカニシカ、實ハ當ッテ居リマセヌ、サウ云フ次第デアリマスカラ、外ノ品物ニ對シ、外ノ砂糖ノ種類ニ較ベテ、第一種糖ガ二十五錢増スト雖モ、決シテ優渥過ギル保護ニナリマセヌ、却ッテ薄イ保護ノ部分ニ這入ッテ居ルト言ハナケレバナラヌト考ヘマス、ドウカ此問題ハイロ／＼ナコトニ附帶シテ、妙ナ反對ナドノ結果トシテ、全體ノ御判斷ヲ誤ラセリヤウナコトガアツテハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマスノデ、此問題ハ此問題トシテ、別ニ御判斷ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、之ニ附帶スルコロノイロ／＼ノ事情ノ如キハ、是ハ私ハ全然眼中ニ置イテ居リマセヌ、鐵道國有ノ場合論ジマシテモ、之ヲ贊成スル者ハ、必シモ鐵道國有ト云フ「プリシブル」ノ上カラ否ナリトスル者デナイカモ知ラナイ、又之ヲ否ナリトスル者モ、同ジク「プリシブル」ノ上カラ否ナリトスル者デナイカモ知ラナイ、ソノ中ニハイロ／＼ノ動氣ニ促サレテ、或ハ贊成ト云ヒ、或ハ不贊成ト云フデアッタラウト思ヒマス、此問題ニ付キマシ

テモ、提案ノ精神ハ、即チ茲ニアリマスノデ、詰リ此千二百萬圓ノ輸入ニ付イテ、五百萬圓ノ精製糖ノ輸入ヲ止メヤウトスル解決ノ途ハ、一ニ瓜哇ノ「ザラメ」糖ト、同ジモノヲ内地デ拵ヘルヨリ外ニナイノデアリマスカラ、此問題ハ此真正ナル一問題トシテ、御考ヲ願ヒタイ、若モ不幸ニシテ此案ガ敗レマシタニシタコロガ、ソレハ致シ方ナイコトデアルガ、尙此問題ハ幾回モ國民トシテ、且ツ本員トシテ、討論スル機會ガアラウカト思ヒマスカラシテ、今カラドウゾ篤ト御考ヲ願ヒタイト思フ、ソレデ私ハ修正案ヲ何處マデモ、一ツ御協賛ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス

○東尾平太郎君 今山本君ハ熱心ニ此砂糖稅ノ増加說ヲ吐カレマシタガ、勿論山本君ノ立場トシテ、臺灣製糖業者ノ一人トシテハ、尤ナ話デ、一人ノ御事情ハ御察シ申シマスガ、趣意ニ於テハ、私モ山本君ト同論デス、内地ノ重要物產ニハ相當ノ保護稅ヲ課ケタイ趣意デアル、私ノ意見ヲ云ヘバ、綿モ三割デアル——内地ノ重要物產ヲ保護シタイガ、砂糖稅ハ四割五割ニナッデ居ル、此上更ニ増加シテ保護スル必要ヲ認メマセスカラ、原案ヲ賛成致シマス

○委員長栗原亮一君 採決致シマス、第二種ヲ二十五錢上ゲルト云フ修正、此修正案ニ付イテ決ヲ採リマス、修正案ニ賛成ノ諸君ハ手ヲ御舉ゲナサイ

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數デアリマス、原案ニ決シマシタ——第五類

○森肇君 第五類ノ六十四ト云フトコロデス、酒精、是ガ原案ハ五十八錢トナッデ居ル、之ヲ六十五錢ト修正シタイ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 修正通決シマシタ、第六類ニハ修正ガアリマスカ

(「ナイヤウデス」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第七類

○福島宜三君 九十五ノ麝香ト云フトコロデス、段々當業者ニ聞キ、實際ヲ承ッテ見マスルト、是ハ殆ド輸入ノ大部分ハ賣藥ニ這入ッデ居ル、一例ヲ舉ゲテ見ルト、寶丹ナドニ於キマシテモ、今二百三十四斤ノ内地輸入ノ中、四分ノ一ハ、アノ寶丹ノ中ニ這入リテ居ル、ソレデ現在ガ七十五圓ノ稅金デアルノガ、一躍シテ百五十圓ニ政府案デハナリマスガ、サウシマスルト戰時稅ガ掛カラナイトキハ、寶丹ハ一袋五錢デアツタガ、今ハ十錢ガ一番最低デアル、此間百五十圓ニナルト、十五錢以下ノモノハ出來ナイト云フトコトデアリマス、是ハ此山間僻地ナドニ參リマスルト、殆ド、活キタ醫者ト云フヤウニ效ヲナシテ居ルヤウニ聞イテ居ル、又支那朝鮮等ハ今ハ餘程輸出ヲ致シマス、寶丹タケノ話ヲ聞テ見マシテモ、寶丹ノ製造高ハ一年二十万デ殆ド、五六万ハ清韓地方ニ出テ居ルト云フトコトデアリマス、是等ハ人命ノ上ニ關係ノアルコトデゴザイマスカラシテ、是ハ五割ノ割合ニナッテ居リマスガ、是ハ四割ノ割合ニ訂正ヲ致シタイト云フ 希望ヲ持ッテ居リマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

(「原案賛成」ト呼フ者アリ)

○島田三郎君 政府ハドウ云フ御考ガアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 麝香ハ、矢張先ヅ政府ノ見マスルトコロデハ香料ノ方ノ側ニ近イモノト認メマス、薰香類ガ五割六割トナッデ居リマスカラ、ソレト權衡ヲ取リマスレバ、此處ハ原案ノ方ガ宜カラウト思ヒマス

(「福島宜三君」ソレハ事實デアリマセヌ殆ンド藥種デス「ト呼フ」)

○東尾平太郎君 原案デハ從價稅トナッテ百五十圓トナッテ居リマスガ、私ハ是ヲ從價稅トシテ、五割ニシタイ、其理由ハ開イテ見マスルト、百圓ノモノモ、二百圓ノモノモ、六百圓七百圓ノモノモ、千圓ノモノモアルト云フトコトデアリマス、サウスルト千圓ノモノニ對シテ、百五十圓ダト輕過ギマスカ、百圓ニスルト百五十圓ノ稅ハ重過ギル故ニ、是ヲ從價五割トシマスレバ、公平ニナルグラウト考ヘマスカラ、是ヲ從價稅五割ト修正シタイ、精神ハ一緒デス

○武市庫太郎君 チョット政府委員ニ伺ヒマスガ、此麝香ハイロノ「ナ」香料ニ使ヒマスガ、殊ニ賣藥ニ使用スルヤウデスガ、サウシマスルト、麝香ヲ用井テ製シタ賣藥ヲ、海外ニ輸出シマス、即チ支那、或ハ朝鮮、滿洲邊ヘ、大分近頃輸出シマスガ、ソレニ對シテハ、第九條ノ此稅稅ト云フ方ニ入レテ、御取扱ニナルノデアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 戻稅ト云フ方ニ入レマセヌ

○福島宜三君 我ハ東尾君ニ讓ッテ贊成シテ宜シイ

○藤金作君 チョット政府委員ニ伺ヒマスガ、麝香ハ、東尾君ノ御說ノヤウニ代價ニ高下ガアルモノデアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 ソレハ白毛ト云フトコト、サウデナイノツレハ餘程違ヒマス、一方ノ方ハ丁度此處デ見マスルト、二百二十圓位ナモノデス、ソレカラ一方ノ方ハ三百五十七圓位デアリマス、所ガ白毛ト云フ方ハ、殊ニ輸入モ少ウゴザイマス、多ク這入リマスノハサウデナイ方デアリマス

○大津淳一郎君 東尾君ノ修正說ノヤウニスルト、徵稅方ハドウ云フ風ニナリマスカ、假ニ從價稅トスレバ、政府ハドウ云フ風ニシテ御取リニナルカ、又ドウ云フ割合ニナルカ、御示シテ願ヒタイ

○政府委員若槻禮次郎君 若シ之ガ從價稅ニナッデモ、實際ノ取扱ハ常ニ價ニ依ッデスルト、計算上不便デアルカラ、矢張第二條ノ規定ニ據ッテ、從量ニ直シマスガ、其直スノ今日デハ高イモノガ主ニ這入ッテ、廉イモノハアリマセヌ、若シ東尾君ノヤウナ意見ヲ以テ之ヲ御修正ニナレバ、其時ノ從量ハ一ツニ分ケルコトニナル、矢張高イ方ハ百五十圓、低イ方ハ價ニ依ッテ低クスル、サウナルカラ、事實ニ於テ高イ方ノ外ハ、適用ヲ受ケルモノガナイ、ト云フトコトニナリマス

○大津淳一郎君 サウスルト東尾君ノ御說ハ、收入ハ多クナルト云フトコトデアリマスガ、私ハ少シ下ゲル見込ヲ以テ、從價ニシタラ宜カラウ、下ゲル見込デ東尾君ノ說ヲ賛成シマス、下ゲル見込ヲ以テ、從價稅トシタラ宜カラウ

○政府委員若槻禮次郎君 チョット今申上ゲタノヲ訂正シマス、詰リ五割トナッデ既往ノ價格ガ平均カラ云ヘハ白毛ト云フ方ヲ從量ニ直スト、チョット百十一圓バカリノ稅ニナリマス、併シソレヲ別ニシタメニ、今度一方ノ白毛デナイ方ハ上ガッテ、百七十八

圓、此所二百五十圓トアルノハ、是ガ百七十八圓ニナル、而シテ適用セラレベキモノハ、百七十八圓ノ方ガ多イト御承知ヲ願ヒマス

○宮崎藥治君 先刻武市君カラノ御尋ニ依ッテ、第九條ノ適用ハサレナイト云フコトデアリマシタガ、如何デセウカ、輸入原料品ヲ用井テ、命令ヲ以テ指定シタル物品ヲ製造シタル以上ハ、何處マデモ輸入税ノ拂戻ヲスルコトハ出來サウニ思フガ、ソレガ出來レバ、諸君ノ御意見モ大イニ又考フル處ガアラウカト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ、麝香ノ原料ヲ以テ拵ヘタル藥ノ分ダケガ、第九條ヲ適用サレナイ譯デアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 麝香ヲ賣藥ニ入レルノハ、誠ニ僅カデ、賣藥ノ内ニドレタケノ麝香ヲ含ンデ居ルカト云フコトヲ見テ、戻税ヲスルコトハ到底出來ヌ、ソレデハ適用シナイ方ノ部類ニ入レマスノデ

○福島宜三君 私モ實ハ九條ニ於テ、清韓地方ハ、戻税ガ出來レバ原案デ宜シイト思ヒマシタガ、是ハ政府委員ノ言ハレル通出來ナイト思フ、出來ナイトスルト前來續々申述ベル通人命ニ關係スル、ソレカラ清韓地方へ出ルモノハ現ニ輸出税ヲ免除シテ居ル、旁々ハ四割トシテ毎斤百二十圓ト訂正セラレルコトヲ望ミマス

○星松三郎君 政府委員ニ御尋ネシマスルガ、最近ノ輸入高ハ幾ラ位……

○政府委員若槻禮次郎君 三十七年度ハ七万八千圓バカリ……

(「原案賛成」ト呼フ者アリ)

○星松三郎君 私ハ漸ク八万圓足ラズトスレバ、大シタ意見ハアリマセヌ、四割說ニテ賛成致シマス

○委員長栗原亮一君 四割說ニ付イテ採決ヲ致シマス、福島君ノ四割說ニ同意ノ諸君ハ舉手

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數デアリマス

○森本駿君 百三十七、變性酒精五十八錢トアリマスノヲ、前ノ修正ノ權衡ヲ取りマシテ、六十五錢ト致シタイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 其通修正ヲ致シマス

○森本駿君 甘精二十圓トアリマス、之ヲ甘精ノ下ニ「其他類似ノ甘味物」ト云フ文字ヲ加ヘテ、而シテ税額ヲ六十圓ニ修正シタイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 修正ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フモノアリ)

○委員長栗原亮一君 其通り決シマス

○森本駿君 酒精(阿片丁幾ヲ除ク)、下ニ五十八萬トアリマスガ、矢張曩ノ修正ニ權衡ヲ取ッテ六十五萬ト修正スル

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 御異議ガナケレバ修正通り決シマス

○福島宜三君 百五十六ノ次ニ沃度及沃度加里ト云フ項目ヲ一項ヲ加ヘテ、三割

ニシタイ、ソレハ先日質問シタ場合ニ、私ハ沃度ガ内地ノ生産業デ、外品ノ壓迫ヲ受ケツ、アル狀況ヲ續々述ベマシタ、若シ之ガ「トラス」ノ勢ガ、先日内務省ノ委員ノ言ハレシ如ク、日本ノ政府ニ向テ詰リ交渉シテ居ル位デスカラ、大イニ意ヲ決シテ來ル場合ハ、非常ナル影響ヲ受ケヤウト思ヒマスカラ、百五十七ノ「其他ノ諸藥材化學藥及製藥」ト云フ前へ「沃度及沃度加里」ト云フ一項ヲ加ヘテ三割ト云フコトニシタイ

(「原案賛成」又「福島君ノ說ニ賛成ト呼フ者アリ」)

○委員長栗原亮一君 福島君ノ「沃度及沃度加里」ト云フ一項ヲ、百五十六ノ次ニ上ゲ三割、是ニ賛成「フ諸君ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數原案ニ決シマス、第八類

○森本駿君 第八類ノ百六十「亞麻子油」ヲ内譯ニ於テ「一罐入又ハ樽入ノモノ一圓六十錢」トアリマスノヲ、一圓ト修正シマス

○委員長栗原亮一君 修正ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 其通り決シマス

○波多野傳三郎君 第七十二「重油百斤八十五錢」トアルヲ「一圓二十三錢」ト修正シタク思ヒマス、ソレハ輕油ト云フモノハ二割トアッテ、丁度重油モソレト同率ノ二割トスルト、一圓二十三錢ニナルガ故ニ、サウシタイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○政府委員若槻禮次郎君 唯今修正ノ御意見ガ出マシタガ、此重油ヲ政府ガ、今回他ノモノハ段々率ヲ上ゲテ居ルニモ拘ハラズ、率ヲ上ゲヌデ、一割五分ニ止メタ所以ハ、重油ハ機械ノ方ニ餘程使ヒマスノデ、是ヲ餘リ上ゲルト云フコトハ諸種ノ工業ニ關係ガアリマスカラ、成ベク原案ノ儘ニ御置キヲ願ヒタイノデゴサイマス

○波多野傳三郎君 政府委員ガ説明スレバ、私モ少シ説明致シマス、輕油ト云フノハ何デアルカト云フニ、矢張原料ニ使フモノデアル、既ニ一種ノ原料デ、丁度重油モ其通ノ種類デ、所謂重油ト云フモノハ、原料ニ使フ、茲ニ重油ト云フモノハ機械油ノ再製デ、内地ノ非常ニ廉イ餘ッダモノヲ再製シテ使フカラ、此度ノ關稅定率ノ改正ノ精神カラ言フニ、輕重ノアルベキ道理ハ不當ト思フ

○萩野左門君 私ハ原案ニ賛成デス、重油ト云フモノハ石炭デ、石炭ヲ無稅ニシタ主義デ、私ハ質問致シマシタケレドモ、同趣意デ、是ノ如キ工業原料ニ類シタモノデ、即チ石炭ト同ジモノデアルカラ、矢張廉クシタ方ガ工業ノ發達獎勵ニ付イテ宜カラウト思ヒマス

○波多野傳三郎君 私ハ何レニシテモ、強ヒテ異論ハナイガ、重油ハ原料ニ使フ石炭同様ト説明スルノハ、虚偽ノ説明ダト思フ、此前ニ重油ハ機械油ヲ含ンデ居ルト言ハレタ、現在原料ニ使フモノハ機械油ノミデアルノデアリマス

○委員長栗原亮一君 波多野君ノ八十五錢トアルノヲ、一圓二十三錢ニ修正スルト云フニ賛成ノ諸君ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 多數

○委員長栗原亮一君 多數、ソレデハ修正説ニ決シマス

○森本駿君 百七十四「バラフ井ソックス」ハ一律ニ無税ト云フ 原案デアリマスケレドモ、之ヲ内譯ヲ致シテ、一、無税、二、毎百斤ニ付一圓三十錢 斯ウ修正ヲシタイ

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○森本駿君 蠟燭毎百斤同トナリマス、第九類ノ天然蠟「一、乾キタルモノ毎百斤三十七圓二十錢」トアルヲ「五十五圓八十錢」ニ、液狀又ハ泥狀ノモノ從價二割「トアルヲ「從價三割」ト修正致シマス

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○森本駿君 次百七十八、人造蠟「一、乾キタルモノ毎百斤四十二圓三十錢」トアルヲ「六十三圓四十錢」ニ、液狀又ハ泥狀ノモノ從價二割「トアルヲ「三割」ト修正致シマス

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○森本駿君 百九十九「鉛粉一圓二十錢」トアルヲ「一圓八十錢」ニ、百九十一「白色亞鉛粉一圓三十五錢」トアルヲ「一圓」ト修正致シマス

○委員長栗原亮一君 修正ニ御異議ハアリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○森本駿君 二零八「其他ノ塗料二割」トアルヲ「三割」ニ修正シマス

○委員長栗原亮一君 御異議ハアリマセヌカ

○委員長栗原亮一君 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○森本駿君 第十類二百二十二「生皮芋鬚斗絲及屑絲從價一割五分」トアルヲ「六無税」ト修正致シマス、從價「眞綿ノ從價ハ同シトス」ト直リマス

○駒林廣運君 政府ハ此亞麻ハ何程モ出來ルト考ヘテ居ルカ、先ヅソレヲ御聽キ申シタイ

○政府委員若槻禮次郎君 是ハ先達御尋ネガゴザイマシタカラ、農商務省ノ方ヘ尋ネマシタガ、農商務省ニモ能ク分ラヌト云フコトデ、チヨット統計デ御答スル譯ニハ參リマセヌ

○駒林廣運君 ソレデ私ハ修正動議ヲ出シマス、此亞麻ト云フモノハ、北海道ニ適シタ植物デ、必要ガアレバ、何程デモ播殖スルコトガ出來ル品物アルカラ、ドウカ稅ヲ附シテ愈、盛ニシタイト思フ、其趣意カラ亞麻ニハ、毎百斤五分位課シテモ宜カラウト思フ、今調ベタモノガ參リマシタガ、三十七年度ニハ六十萬斤、三十八年度ニハ八十萬斤モアルカラ、之ニ稅ヲ附スルハ、相當ト思ヒマス

○政府委員若槻禮次郎君 北海道ニ於テ幾分出來テ居ルヤウデアリマスガ、今ノ北海道ノ亞麻ノ製作ニ付イデハ、麻ノ紡績ヲ致シテ居ル方ノ側ノ任意デ、價ガ定メラル、有様デ、是ニ五分ノ課稅セラル、コトハ、他ノ屑綿及故綿生絲及線綿トノ關係カラ言フテ、矢張無稅デ置クガ相當アルト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 駒林君ノ五分稅ヲ課スルニ贊成ノ方ガアリマスカ

○贊成「ト呼フ者アリ」

○委員長栗原亮一君 採決致シマス、二百十四ノ亞麻ダケニ五分稅ヲ置クト云フ駒林君ノ修正説ニ贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數デアリマス、原案ニ決シマス

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君 我ハ神崎君ノ修正説ニ贊成ヲ表シマス、其理由ハ神崎君ガ述ベラレマシタガ、我國ニ於テモ五分稅ヲ課シテアッタノガ、一時工業獎勵ノタメニ廢シタノデアリマスガ、今日ハ工業ハ發達シ國勢ハ一變シテ、戰後經營ノ費用モ嵩ミ、輸入ノ三分ノ一ハ綿花デアリマスカラ、財政上ニ於テモ是ニ課稅スルハ適當ノコト、思ヒマス、又是ニ依テ織物稅ヲ全廢スルコトニナレバ、便利ノコト、思ヒマス、諸君モ之ニ贊成セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 我ハ綿ニ課稅スルコトハ反對デアリマス、日本ノ綿ニ適セヌト云フコトハ分リ切ッタ話デアッデ、日本ノヤウナ不時ニ雨ノ降ル土地ニ綿ノ適セヌハ確定シタ事實デアリマスカラ、私ハ綿ヲ作ルコトハ廢メテ貫ヒタイト思フ位デ、殊ニ内ニ費ストコロハ中以下ノ者ガ着ル物デアリマスカラ、織物稅ハ廢シタイ、織物稅ハ減シタイト思ヒマスガ、是ハ原案ヲ贊成致シマス

○佐藤伊助君 我ハ原案ヲ贊成致シマス、發達シタル工業ヲマタ是ニ依ッテ壞ハスコトハ、國家ノ不利益ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 神崎君ノ二百九及二百十無稅トアルヲ、一割五分ノ稅ヲ課スルト云フ修正説ニ付イテ、贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君 我ハ神崎君ノ修正説ニ贊成ヲ表シマス、其理由ハ神崎君ガ述ベラレマシタガ、我國ニ於テモ五分稅ヲ課シテアッタノガ、一時工業獎勵ノタメニ廢シタノデアリマスガ、今日ハ工業ハ發達シ國勢ハ一變シテ、戰後經營ノ費用モ嵩ミ、輸入ノ三分ノ一ハ綿花デアリマスカラ、財政上ニ於テモ是ニ課稅スルハ適當ノコト、思ヒマス、又是ニ依テ織物稅ヲ全廢スルコトニナレバ、便利ノコト、思ヒマス、諸君モ之ニ贊成セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 我ハ綿ニ課稅スルコトハ反對デアリマス、日本ノ綿ニ適セヌト云フコトハ分リ切ッタ話デアッデ、日本ノヤウナ不時ニ雨ノ降ル土地ニ綿ノ適セヌハ確定シタ事實デアリマスカラ、私ハ綿ヲ作ルコトハ廢メテ貫ヒタイト思フ位デ、殊ニ内ニ費ストコロハ中以下ノ者ガ着ル物デアリマスカラ、織物稅ハ廢シタイ、織物稅ハ減シタイト思ヒマスガ、是ハ原案ヲ贊成致シマス

○佐藤伊助君 我ハ原案ヲ贊成致シマス、發達シタル工業ヲマタ是ニ依ッテ壞ハスコトハ、國家ノ不利益ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 神崎君ノ二百九及二百十無稅トアルヲ、一割五分ノ稅ヲ課スルト云フ修正説ニ付イテ、贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君 我ハ神崎君ノ修正説ニ贊成ヲ表シマス、其理由ハ神崎君ガ述ベラレマシタガ、我國ニ於テモ五分稅ヲ課シテアッタノガ、一時工業獎勵ノタメニ廢シタノデアリマスガ、今日ハ工業ハ發達シ國勢ハ一變シテ、戰後經營ノ費用モ嵩ミ、輸入ノ三分ノ一ハ綿花デアリマスカラ、財政上ニ於テモ是ニ課稅スルハ適當ノコト、思ヒマス、又是ニ依テ織物稅ヲ全廢スルコトニナレバ、便利ノコト、思ヒマス、諸君モ之ニ贊成セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 我ハ綿ニ課稅スルコトハ反對デアリマス、日本ノ綿ニ適セヌト云フコトハ分リ切ッタ話デアッデ、日本ノヤウナ不時ニ雨ノ降ル土地ニ綿ノ適セヌハ確定シタ事實デアリマスカラ、私ハ綿ヲ作ルコトハ廢メテ貫ヒタイト思フ位デ、殊ニ内ニ費ストコロハ中以下ノ者ガ着ル物デアリマスカラ、織物稅ハ廢シタイ、織物稅ハ減シタイト思ヒマスガ、是ハ原案ヲ贊成致シマス

○佐藤伊助君 我ハ原案ヲ贊成致シマス、發達シタル工業ヲマタ是ニ依ッテ壞ハスコトハ、國家ノ不利益ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 神崎君ノ二百九及二百十無稅トアルヲ、一割五分ノ稅ヲ課スルト云フ修正説ニ付イテ、贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君 我ハ神崎君ノ修正説ニ贊成ヲ表シマス、其理由ハ神崎君ガ述ベラレマシタガ、我國ニ於テモ五分稅ヲ課シテアッタノガ、一時工業獎勵ノタメニ廢シタノデアリマスガ、今日ハ工業ハ發達シ國勢ハ一變シテ、戰後經營ノ費用モ嵩ミ、輸入ノ三分ノ一ハ綿花デアリマスカラ、財政上ニ於テモ是ニ課稅スルハ適當ノコト、思ヒマス、又是ニ依テ織物稅ヲ全廢スルコトニナレバ、便利ノコト、思ヒマス、諸君モ之ニ贊成セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 我ハ綿ニ課稅スルコトハ反對デアリマス、日本ノ綿ニ適セヌト云フコトハ分リ切ッタ話デアッデ、日本ノヤウナ不時ニ雨ノ降ル土地ニ綿ノ適セヌハ確定シタ事實デアリマスカラ、私ハ綿ヲ作ルコトハ廢メテ貫ヒタイト思フ位デ、殊ニ内ニ費ストコロハ中以下ノ者ガ着ル物デアリマスカラ、織物稅ハ廢シタイ、織物稅ハ減シタイト思ヒマスガ、是ハ原案ヲ贊成致シマス

○佐藤伊助君 我ハ原案ヲ贊成致シマス、發達シタル工業ヲマタ是ニ依ッテ壞ハスコトハ、國家ノ不利益ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 神崎君ノ二百九及二百十無稅トアルヲ、一割五分ノ稅ヲ課スルト云フ修正説ニ付イテ、贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君 我ハ神崎君ノ修正説ニ贊成ヲ表シマス、其理由ハ神崎君ガ述ベラレマシタガ、我國ニ於テモ五分稅ヲ課シテアッタノガ、一時工業獎勵ノタメニ廢シタノデアリマスガ、今日ハ工業ハ發達シ國勢ハ一變シテ、戰後經營ノ費用モ嵩ミ、輸入ノ三分ノ一ハ綿花デアリマスカラ、財政上ニ於テモ是ニ課稅スルハ適當ノコト、思ヒマス、又是ニ依テ織物稅ヲ全廢スルコトニナレバ、便利ノコト、思ヒマス、諸君モ之ニ贊成セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 我ハ綿ニ課稅スルコトハ反對デアリマス、日本ノ綿ニ適セヌト云フコトハ分リ切ッタ話デアッデ、日本ノヤウナ不時ニ雨ノ降ル土地ニ綿ノ適セヌハ確定シタ事實デアリマスカラ、私ハ綿ヲ作ルコトハ廢メテ貫ヒタイト思フ位デ、殊ニ内ニ費ストコロハ中以下ノ者ガ着ル物デアリマスカラ、織物稅ハ廢シタイ、織物稅ハ減シタイト思ヒマスガ、是ハ原案ヲ贊成致シマス

○佐藤伊助君 我ハ原案ヲ贊成致シマス、發達シタル工業ヲマタ是ニ依ッテ壞ハスコトハ、國家ノ不利益ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 神崎君ノ二百九及二百十無稅トアルヲ、一割五分ノ稅ヲ課スルト云フ修正説ニ付イテ、贊成ノ諸君ハ舉手ヲ……

○委員長栗原亮一君 少數

○神崎東藏君 二百九ノ生絲及線綿ト云フノガ無稅ニナッテ居ル、ソレヲ從價一割五分ト云フコトニ修正ヲシタイ、簡短ニ理由ヲ述ベマスガ、一方ニ於テハ日本ノ綿ノ業ヲ保護スルコト云フ趣意ガ、一ツ、モウ一ツハ國庫ノ收入ヲ餘計取ルト云フコトガ一ツ、今一ツハ是ニ依ッテ複雜シテ居ッテ、當業者及人民ノ怨ミヲ買ッテ居ル、織物稅ヲ廢メテシマウコトガ出來ヤウト云フ希望ガアルノガ一ツ、私が知り得タ統計ニ據ルト、一割五分ノ稅ヲ掛ケマスル、凡ソ國庫ノ收入ガ一千万圓以上ニナル、約一億一千万圓ハカリノ輸入ガアリマスカラ、ソレノ一割五分ノ數ハ直チニ出ルト思ヒマス、ソレカラ絲ニナッテ出ル物ニ、戻稅ヲ拂フコトニシマシタコロガ、悉ク拂ッテモ四百萬圓位デアリマスカラ、結局一千万圓内外ノ收入ガ、國庫ニ殖エテ、ソレニ依ッテ綿ノ當業者ノ保護ガ出來、織物稅ヲ廢メルコトガ出來レバ、三方便利ナ案ト思ヒマスカラ、從價一割五分ト云フ修正説ヲ提出致シマス

○委員長栗原亮一君 少數アリマス、原案ニ決シマス

○福島宜三君 二百二十三ノ眞綿ヲ無税ニシタイ、是ハ前ノ屑綿及故綿ニ對シテ、當然無税ニスベキモノト考ヘマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○委員長栗原亮一君 眞綿ノ無税ニ贊成ノ方ガアリマスカラ、決テ採リマス、眞綿ヲ無税ニスルト云フ修正說ニ同意ノ諸君ハ舉手……

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數アリマス、第十類ニハモウアリマセヌカ

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第十一類

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第十二類

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 第十三類

○福島宜三君 三百十四ノ印刷料紙、是ハ斯様ニ一本ニ課税スルハ不當ト思ヒマス、是ハ二種類ニ區別シタガ宜カラウ、新聞紙ナドニ用井ラル、物ハ、四十五封度以下ノ物四十三封度位ノ物ガ用井ラレテ居ルノデ、人文開發ノタメニモ、是ハ廉クシタイ、又内地ノ製紙業者ガ此爲ニ大打撃ヲ受ケテ、折角成立掛カッタ内地製紙業者ガ倒レルコトガナイカト云フコトガ、大イニ考フベキ問題デアルガ、私共公平ニ判斷シテ見ルト、是ハハ勿論協定税率デアリマスカラ、ドウ致シマシタコロガ、當分ノ中協定税率ノ下デ、所謂重量一割ニナッテ居リマスカラ、之ヲ斯様ニ修正シタイ、印刷料紙ヲ二種類ニ別ケテ、一ハ一枚千八百六十「イシチ」ヨリ少カラザル物、五百枚毎ニ四十五封度以下ノ重量ヲ有スルモノ、二ハ其他ハ滿百斤ニ一圓、是ハ何カラ標準ヲ取ツタカト云フト、現在ノ協定税率ノ上ニ於テ課税サレテ居リマスカラ、毎百斤一圓十六錢三厘ト云フコトデ、其三厘ト云フモノヲ四拾五入シタニ外ナラヌ、是ナレバ現在ノ新聞紙モ、今日ノ勢ノ如ク、實ニ天下ヲ動カス程ノ勢力ヲ持ッテ來ルニ差支ナイト思フ、内地ノ製紙業ニシテモ、所謂倒レルモノハ今マデニ倒レテ居テ、ツレガ又社内ノ事情ノタメニ倒レタカ、紙ノタメニ倒レタカ知レマセヌガ、今日ノトコロデハ追々發達シテ來テ、現ニ北海道ノ原料ヲ用井テ、漸次進シテ行クヤウデアル、故ニ是ナレバ内地ノ製紙業者モ倒レルコトハ無イト思フ、故ニ協定税率ガ無クナッデモ、現在課セラレテ居ルモノデ遣ッテ往ク以上ハ、雙方議論ハ出來ナイコトデアルト思フ、又其他ヲ二圓ニスルト云フ、是ハ全然輸入ニ仰イデ居ルモノデ、斯様ニ高クシテ置クコトハ、或ハ是ガタメニ内地ノ製紙業ヲ刺撃シテ發達セシムル材料ニモナラウト思ヒマスノデ、旁々以テ斯様ナル修正ヲ提出致シマス

○森本駿君 此印刷業紙ハ、從價一割ト云フ修正說ヲ提出シテ置キマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○東尾平太郎君 森本君ノ修正ニ贊成致シテ置キマス

○福島宜三君 茲ニ於テ前ニ質問シタ政府委員ノ意志ヲ伺ヒマス

○政府委員若槻禮次郎君 政府ノ考ハ、常ニ原案ヲ宜イト信シテ居リマス、詰リ宜

イト信ジテ出シタル原案デアリマスカラ、原案ガ宜イト信ジテ居ルノデアリマス、森本君ノ修正ノ如クナルト、現在協定税率ニ依ッテ、設ケテアル稅ヨリ低ク、ナルノデアリマス、物ニ依レバ或ハ協定税率ノアルモノモ、必要上協定税率以下ニスルコトハ出來ヌトハ申サレマセヌ、即チ原料品トカ云フヤウナモノニ付イテハ、稅ヲ輕クスル主義ヲ執ツタガ、サウデナク内地ニ來テ消費サル、モノハサウマデ輕クスルト云フ主義ハ執ツテ居リマセヌノデ、政府ハ此關稅定率ヲ立案シタ趣意カラシテ、森本君ノ修正ニハ同意ガ出來ヌノデアリマス

○佐藤虎次郎君 森本君ノ從價一割ト云フ修正ニ對シテ、政府委員ノ御辯明モアツタガ、元々從價一割デ割出シタコロノ從量稅デアルカラ、協定ノ趣意ニ少シモ違ウモノデ無イト信ズル、ソレデ外國ハ稅ヲ廉クスルコトニ反對ハナイ、却テ喜ブコト、思フ、故ニ此修正ニシテモ政府ガ困難ヲ感ズルコトハ無イト考ヘル、協定税率ノ率ヨリ變更スルソレヨリ以下ニ下ッテハ、ドウシテモ全部ヲ撤回シ、全部ヲ破毀シテマデト云フ御質問モアツタヤウニ聞キマシタガ、サウ云フコトハアルベキ筈デ無イシ、又サウ云フ御答モ幸ニ無カッタデアリマスガ、元々一割ニ從量ヲ直シタモノデ、其廉イ方ニ直シタノデアリカラ、外國ハ喜ブコトデ、又政府ニシテモサウ困難ヲ感ズルコトハナイト信ズルノデ、矢張從價一割ガ宜イト思ヒマス

○波多野傳三郎君 私ハ又一ツノ修正說ヲ提出致シマス、即新聞用紙ニ當ルモノ即チ此福島君ノ言ハル、幅ノ物、重サノ物ハ、從價一割、其他ノ物ハ從價一割五分、斯ウ云フ修正說ヲ提出致シマス

○政府委員若槻禮次郎君 チョット協定税率ニ關係ダケヲ申シマスガ、日獨條約ニ、紙ノ從價一割トアリマス、其協定ニ付イテハ、當時ノ議定書ニ於テ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル「該稅目ニ掲ケタル從價稅ハ之ヲ實行スヘシト認メラル、限リハ兩國政府間ニ成ルヘク速ニ締結セラルヘキ追加條約ヲ以テ從量稅ニ改ムヘシ」トアリマシテ、追加條約ハ明治三十一年十二月二十六日東京ニ於テ調印サレ、ツレニ依ッテ第一條「本約定ニ附屬スル稅目ハ前記千八百九十六年四月締結ノ議定書附屬從價稅目ニ代ユヘキモノトス」斯ウ云フ追加條約デアッデ、今日ノ所デハ百斤一圓十六錢トナッデアル、其關係十分御了知ヲ願ヒタイ、ツレデ私ノ云フ從價一割ト云フモノハ、今日ノ協定ヨリ低イノハ、惡ルイト云フノハ、ソレヨリ言フノデアリマス

○東尾平太郎君 スルト從價ニスルトイケナイデスカ

○政府委員若槻禮次郎君 從量ニスルガ宜イカ、從價ニスルガ宜イカト云フコトハ、ツレハ御判斷ノコトデアリマスガ、政府ハ是ダケ課シテ宜イト云フコトデアッデ、斯クシタノデ、從價ニスルト云フコトハ、別ニ反對ハシマセヌガ、協定税率ヨリ低ク、ナルヤウナ税率ヲ設ケラル、ニハ、政府ハ同意ガ出來ヌト云フコトデアリマス

○東尾平太郎君 前ニ私ハ森本君ノ一割說ニ贊成致シマシタガ、取消シテ今波多野君カラ御出シニナッタ新聞用紙一割、其他ノモノヲ一割五分ニスルト云フ說ニ贊成致シマス

○星松二郎君 是ハ事ニ依ルト、餘リ修正說ガアルノデ、妙ナ結果ニナリハシナイカト考ヘマスガ、協議シタラ何ウデスカ

○委員長栗原亮一君 兎ニ角一邊採決シテ見テ、其上若シ皆少數デアッタナラバ、修

正委員ヲ設ケテヤルト云フコトニ致シマセウ、福島君ノ修正デニツニ分ケテ第一ヲ一圓十七錢トシ、第二ヲ二圓トスル、是ニ贊成ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 四名

○委員長栗原亮一君 ツレカラ森本君ノ總テ從價一割ニスルト云フ修正說ニ、贊成ノ諸君ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 十名

○委員長栗原亮一君 次ニ波多野君ノ新聞紙ヲ一割、後トヲ一割五分ニスルト云フ修正、是ニ贊成ノ諸君ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 九名

○森本駿君 皆少數ノヤウデアリマスカラ、是ハ後廻シニシテ、後トテ協議會ヲ開キタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 然レバサウ云フコトニ致シマス

○森肇君 三百二十八ノ其ノ他ノ紙類從價四割「トナ」テ居リマス、是ハ此ズツ次ニ紙製品ト云フモノガゴザイマス、三百四十二ニ、其ノ他別號ニ掲ケサル紙製品從價三割「トアリ」マスガ、紙製シタ品物ガ三割デアルノニ、其ノ他ノ紙類ガ四割ト云フハ權衡ヲ得マセヌカラ、三割ト修正シタイ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今ノ森本君ノ御修正ハ政府モ同意デゴザイマス、是ハ至極御尤モナル修正デアラウト思ヒマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 四割ヲ三割ニスルト云フ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 モウ此十三類ニ付イテハ修正ハアリマセヌカ

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ十四類ニ移リマス

○波多野傳三郎君 此石炭ハ從來五分デアッタノヲ、無稅ニセラレタト云フコトハ、唯一種ノ原料デアルト云フコトノ以外ニ、何カ意味ノアルコトデアリマス、此御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員若槻禮次郎君 石炭ハ今日日本ニ入ッテ居リマスノハ殆ド「カーチス」炭位ノ外ニハ入リマセヌ、是ハ海軍省ガ軍艦用トシテ輸入シマスルノデ、是ニ課稅ヲ致シマシタトコロガ、政府ハ右ノ手カラ左ノ手ヘ抜ケルダケデ、何ノ關係モナイコトデアル、ツレカラ今後或ハ朝鮮、或ハ撫順炭等ヲ日本人ガ經營スルカモ知レマセヌガ、是モ同ジク日本人ガ經營スルモノデアリマスカラ、ソレニ付イテ稅ヲ取ルト云フ必要モナカラウ、況ンヤ此石炭ニ付イテハ諸工事ノ總テノ必要品デアリマスカラ、之ヲ無稅トシタ方が宜カラウト云フノデ、無稅ト云フコトニ致シタノデゴザイマス

○菊池武徳君 チョット、唯今ノ此滿韓地方カラ出ル石炭ト云フモノハ、日本人ガ經營スルニ極メテ居ルノデスカ

○政府委員若槻禮次郎君 滿洲ノ此東清鐵道ニ附屬シタル炭礦ハ、此間ノ日清協

約ニ依リマシテ、日清兩國ノ設立シタル會社ガ經營スルコトニテラウト思ヒマス、又朝鮮地方モ日本人ト極メテハアリマセヌガ、今日ハ炭礦ノ發見ヲスルコトニ努メテ居ルノハ、日本人ガ多ウゴザイマスカラ、多分日本人ノ方ノ經營ガ多カラウト云フ考デゴザイマス

○神崎東藏君 私ハ此三百五十七ノ石炭ハ、從前ノ通り五分ノ稅ヲ課ケテ置クト云フ修正ヲ提出致シマス理由ハ、詰リ日本ノ此石炭業ヲ保護スルト云フ趣意デゴザイマシテ、是ヲナセ斯ウ云フ風ニ殘シテ置ク方が五分ヲ殘シテ置ク方が宜イカト申シマス、此後デス、此後日本ニ入ッテ來ベキ、此滿韓地方カララシ「ト」入ッテ來ルヤウニナルダラウト思フ、今現ニ撫順炭ト云フノガ既ニ入ッテ來掛ッテ居リマス、製鐵所ナドデモ之ヲ用井テ居ルトコロガ、此撫順炭ナルモノガ政府ノ經營ニ係ルモノデアッテ、他デ廉ク取ッテ此方ヘ持ッテ來テ高ク賣ルト云フコトニナルト、日本デ工業稅ハ取ラレ、其他種ナル負擔ヲ取ラレテ苦シンデ居ル工業者ハ總テ弱ッテシマウノデアル、將來ソレニ付イテ一番打撃ヲ被ムルハ九州地方ノ工業人デアル、九州ハ滿韓ノ取引ガ近イノデアル、デ兎ニ角五分ヲ取ッテ置キタイト云フ意味ニ於テ、修正說ヲ提出致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○荻野芳藏君 私ハ此原案ノ無稅ト云フ方ノ說ヲ有ッテ居ルデ、是ハ長ク申スコトハナイノデゴザイマシテ、此問題ハ主義ノ問題ト、事實ノ問題デゴザイマシテ、原料ヲ無稅ニスル、又原料ト同一ノ性質ヲ有ッテ居ルトコロノ石炭、即チ燃料ノ石炭、是ヲ詰リ成ルベク低價ニ工業家ニ使ハシテ作業費ヲ減少スル方法ヲ設ケテ、生産ノ發達ヲ圖ラナケレハナラヌト云フコトハ、現在主義ノ上カラ最モ必要デアラウト思フ、ツレカラ事實ノ問題ハ唯今神崎君ヨリ御述ベニナリマシタヤウナ撫順ノ炭、即チ滿洲カラ入ル石炭デス、是ハサウ心配ハ要ラヌモノデアラウト思フ、ト云フハ入ッテハ參リマスケレドモ、三百哩ノ鐵道ヲ經テ、ツレカラ尙ホ海上ヲ經マシテ、日本ヘ入ッテ來ルト云フマデニハ、約一噸ニ付凡ソ五圓五十錢乃至八圓ト云フモノニナルノデス、ソレデ今ノヤウナ日本ノ炭價ノ高イ時ニ於テハ、已ムヲ得ズ入ッテ來ル、又入ッテ來ルコトハ石炭ノ暴騰ヲ防グト云フ性質ヲ有ッテ居ルモノデアリマスカラ、大變宜イデアラウト思フ、故ニ事實ノ上カラモ、日本ノ工業家ニ滿洲カラ持ッテ來ル石炭ヲ以テ或ハ利益ガナイトカ、或ハ儲ケガ大變薄クナルトカ云フ程度マデ迫害ヲ受ケルヤウナコトハナイノデアッテ、而モ是ノ如キ一方カラ輸入品ガ來ルト云フコトハ、餘リ内地ノ炭價ヲ騰貴ナラシメズシテ、サウシテ工業ノ發達ヲ漸次圖ルト云フ主義ニモ適フデアラウト思フノデス、ツレカラ現在日本ノ石炭ノ生産額ハ一ヶ年凡ソ一千万噸デアル、サウシテ明治三十五年頃ハ七八百萬噸ハ内地ノ需用デ、二百萬噸ハ海外ニ輸出スルト云フ有様デアッタノガ、今ハ此一千萬噸ノ全部ヲ國內ニ於テ消費スルト云フコトニ現在ナッテ居ル、船艦ノ増加、工業ノ發達等ニ依ッテ、今ハ海外ヘ出スヨリハ、國內デ使ウ方が多クナッテ來ルモノデアリマスカラ、供給ガ詰リ足ラナイト云フ、不足ト云フ事情ニナッテ來タノデゴザイマスカラシテ、尙外カラ石炭ガ入ッテ來ルト云フ必要デアルノデゴザイマス、斯ウ云フ次第デゴザイマスカラシテ、此無稅ニシテ置クト云フコトハ、將來石炭ガ入ッテ來ルトシテモ、餘程必要ノコトデアラウト思ウノデゴザイマス、サウ云フ風デゴザイマスカラ、只今ノ九州乃至北海道アタリデ工業ヲヤッテ居ル人が心配スル

ト云フ問題アリマシテ、國內ノ工業ノ發達ト云フ點カラ、之ヲ無稅ニシテ置クト云フ意見ヲ有テ居リマス、ソレハ原案通り無稅ニシタイト云フ意見アリマス

(「贊成」採決「ト呼フ者アリ」)

○委員長栗原亮一君 ソレハ採決致シマス、神崎君ノ五分ヲ從前ノ通り課ケルト云フ說ニ贊成ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 少數

○委員長栗原亮一君 少數デゴザイマス——モウ十四類ニハアリマセヌカ

(「ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレハ十五ニ移リマス

○森本駿君 此「三百六十七鐵及銅」此點ニ付イテ政府ニ御尋ネラシテ置キタイノデゴザイマスガ、「一、塊、甲ビツク、乙其他、二、條及竿」ト云フ如キモノハ、此稅率ヲ決定サレタ結果トシテ協定稅率以外ノ國カラ入ッテ來ルモノモ、隨分少ナカラヌコトデアラウト思フノデス、若シ協定稅率以外カラ入ッテ來ルモノガ少ナクナイスルト、此方が高クナル、今此關稅率ガ直グニ適用セラル、ト云フコトデ、高イ原料ヲ輸入センナラヌト云フヤウナ場合モナイトモ限ルマイト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ場合ニハ、法文ノ第三條「協定稅率ノ適用ヲ受ケサル地域ノ生産品ニ對シ必要アルトキハ勅令ヲ以テ地域及物品ヲ指定シ協定稅率ヲ下ラザル範圍内ニ於テ稅率ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ、此第三條ヲ適用スルト云フ御見込ガアルダラウカ、如何デアルト云フコトヲ聽イテ置キタイト思フ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今御尋ネニナリマシタコトハ、全般ニ亘ッテ三條ノ適用ヲ十分ニ攻究シナケレバナラヌト思フデ居リマスノデ、今此處デ極メタモノハゴザイマセヌガ「ビツク」ナドノ如キモノハ、矢張三條ノ適用ヲシテ宜シイモノト考ヘテ居リマス、併シ是ハ十分利害ヲ攻究シマセヌト、是デ必ズ確定シタト云フ譯ニハイキマセヌガ、唯今ノトコロデハ彼ノ協定稅率ト、權衡ヲ取ッテ稅率ニ直スヤウナ勅令ヲ設ケタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ有テ居リマス

○山本悌次郎君 同ジク矢張三百六十七ニ付イテアリマスガ、唯今政府委員ノ御辯明ニ依ルト「ビツク」ノ如キハ第三條ヲ適用スベキモノトシテ宜カラウト云フ御話デゴザイマスガ、尙此内ノ「塊及錠」トカ「線及板」トカ云フヤウナ風ノモノハ、支那ノ會安製鐵所デ今年始メマシテ盛ニ造ルト云フ設備ニナラデ居リヤウニ承ハッデ居リマスガ、協定稅率ノ改正ハマダ五箇年アリマスカラ、サウ致シマスト此間ニハ支那ニ於テ斯ウ云フ製品ガ出來マシテモ、此法案ガ其儘ニ存シテ居ッテ、第三條ヲ適用シナイト云フ結果トシテハ、支那ノ品物ハ絶對的ニ出來テ居ナガラモ這入ルコトガ出來ヌ結果ニナルコト、思ヒマス、是ハ第三條ヲ適用スベキモノ、中ヘ這入ルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今モ申シマシタ如ク、我國ノ鐵類ト、工業トノ關係モ考ヘナケレバナリマセヌ、此處デハ必ズ同様に取扱フト云フマデノ考ハ附ケマセヌノデ、是ハ法律成立ノ上ニ能ク我邦ノ鐵業ノ現在ト支那、朝鮮等ニ於ケル斯ウ云フ事業ノ現在トヲ調査シマシタ上ニ、其必要ヲ見ルニ至リマセヌト、何トモ言ヘナイ問題デアラウト思ヒマス

○山本悌次郎君 ソレハ御尤モデアリマスガ、併ナガラ今カラ研究セネバナラヌ問題ハ、

支那デ出來マシテモ、第三條ヲ適用シナイモノハ、品物ガ出來テモ這入ラナイ、獨リ歐羅巴ノモノガ這入ッテ來ルト云フコトハ明カデアラウト思ヒマスガ、サウ致シマスト、第三條ヲ適用スルト云フコトニシナケレバナラヌダラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ參リマセウカ

○政府委員若槻禮次郎君 ソレハ凡ソ此條約上協定ノ利益ヲ有テマセヌ國ノ品物ガ、協定ノ利益ヲ有テ居ル國ノ品物ヨリ輸入上不利ノ地位ニ在ルコトハ免カレヌ、ソコデ今度清韓ノ如キ我邦トイロ／＼ノ關係ガアッテ、通商上交互ノ便利ヲ圖ラナケレバナラヌ地方ニハ勅令デ場合ニ依ッテハ規定ヲ拵ヘルノデアリマスガ、ソレハ能ク攻究セヌト、此處デ一概ニ御答ハ出來マセヌ、但シ此協定稅率ガアリマス間、三條ニ付イテ勅令ヲ設ケマセヌ限ハ、支那デ出來マス鐵類ノ日本ニ輸入シマスモノガ、歐米ノモノニ較ベテ稍、不利ノ地位ニ立ツコトハ免カレマセヌ

○森本駿君 第三條ノ鐵類ハ政府ニ於テ慎重ニ攻究アラムコトヲ希望シテ私ハ原案ヲ贊成シマス、ソレカラ修正意見ヲ茲ニ提出シタイト思ヒマス、同ジク三百六十七ノ中デゴザイマスガ、三ト云フノ「線及徑一インチノ四分ノ一ヲ超エサル條及竿」ト云フノガ從價三割ニナラデ居リマスケレドモ、矢張是ハ從價ニ直シマシテ「每百斤二圓」斯ウ云フ修正ヲ致シマス

○政府委員若槻禮次郎君 唯今ノ修正ハ便宜デアッデ宜シカラウト思ヒマス

○森本駿君 ソレ以下ハ二割五分ヲ標準ニ取ッテアリマスケレドモ、大体ノ上ニ於テ、今ノ二三ガ二割ニナラデ居リマス、片方ヲ二割五分ニシ、片方ハ三割ニスルノハ不權衡デアラカラ、三割ノ標準ニ改正ラシテ、從價ノモノヲ直セバ「電鍍線一圓五十錢」ヲ「一圓八十錢」トスル、次ニ「電鍍シタルモノ」二圓五十七錢ヲ「四圓五十錢」トスル「乙其ノ他四圓三十二錢」ヲ「六圓」トスル「甲電鍍シタルモノ」二圓二十錢ヲ「二圓六十錢」トスル「乙其ノ他從價二割五分」トアルヲ「三割」トスル「テーパー、アングル形其他類似ノモノ」九十錢ヲ「一圓十錢」トスル「軌條八十七錢」ヲ「一圓」トスル「フ井プレート」(軌條用ノモノ)「一圓」ヲ「一圓二十錢」トスル、十四「筒及管二割」ヲ「三割」トスル修正動議ヲ提出シマス

(「總テ贊成」ト呼フ者アリ)

○島田三郎君 政府委員ニ伺ヒマスガ、唯今ノヤウニ修正ニナッデモ差支ハナイノデアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 政府ノ方ノ原案デ前ノ方ヲ三割トシアトノ方ヲ二割ト極メマシタノハ、是ハ大ナル理由ハナイノデアリマス、成ルベク製鐵事業ノ内地ニ起ルコトヲ欲シタノデ、唯今ノ率ノ權衡ヲ取ッテ「一樣ニ御改メニナルコトハ、段々イロ／＼ノ修正ノ御意見ヲ伺ッテ見マス、道理ノアルコトデアラウト思ヒマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 此修正ニ付イテハ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレハサウ決シマス、第十六類ニ移リマス

○森本駿君 十六類ノ「グラウンコルク」每ゲロス二十錢「トアリマスヲ十錢ニ修正シタイ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○森本駿君 續イテ申シマス、三百八十八「釘」此部類ハ矢張鐵ニ屬シマスノデアリマス、前ノ鐵ノトコロト比例ヲ取ツテ「釘」鐵製又ハ銅製ノモノ「トアルヲ三割ニ直シマシテ、其結果トシテ」甲鐵製ノモノ、イ電鍍シタルモノ毎百斤三圓五十錢「トアルヲ」四圓二十錢、「ロ其ノ他一圓三十六錢」トアルヲ「一圓六十錢」「三牝牡螺旋釘及ワッシャー」(鐵製ノモノ)「二割五分」トアルヲ「三割」「四リベツト」(鐵製ノモノ)「一圓六十七錢」トアルヲ「二圓」「五」ドックスバイクス(鐵製ノモノ)「一圓五十二錢」トアルヲ「一圓八十錢」「六ブーッブ」(鐵製ノモノ)「四圓五十六錢」トアルヲ「五圓四十錢」「七其ノ他從價二割五分」トアルヲ「三割」ニ修正シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 森本君ノ御説ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ修正通り決シマス、十七類ニ移リマス

(「原案贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ原案ニ決シテ十八類ニ移リマス

(「原案贊成」ト呼フ者アリ)

○波多野傳三郎君 第十八類ノ「タイヤー」トカ「バツファー」トカ云フ種類ノモノハ過日中村製鐵所長官ハ日本出來ルト云フコトヲ言ハレテ居ル、サウスルト十五類トノ權衡上、丁度十五類ノ總テ日本出來ル「鐵類」ヲ三割ニスルト云フ精神ヲ以テ、委員長及政府委員ト相談セラレテ、相當ニ増額セラル、コトヲ希望致シマス

○政府委員若槻禮次郎君 此處ハ前ガ直リマシタニ拘ハラズ、此儘デ宜カラウト思ヒマス所以ノモノハ、此等ノモノハ大分價が高フゴザイマス、矢張二割五分ニ課稅シテ置イデモ、前ノモノト不權衡ニハナラヌト思ヒマスカラ、是ハ矢張原案ノ通ニ据置カレンコトヲ希望致シマス

○福島宜三君 贊成ガナイカ知レマセヌカ、此ノ四割ヲ三割ニ修正シタイ、最早今日ハ娛樂ト云フヨリ實用ノ方ニ移ッテ居リ……

○委員長栗原亮一君 御贊成ガナイヤウデアリマス、十九類

○森本駿君 十九類ノ四百八十九、屑護謨及故護謨(改造用ノミニ適スルモノ)是ハ九十八錢トナッテ居リマスガ、是ハ無稅ニ致シタイト思ヒマス

(「原案贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ協議會ニ移リマス

○荻野芳藏君 協議會ニ付イテ一言意見ヲ述ベタイト思ヒマス、先刻印刷料紙總テノ印刷料紙ヲ一割トスルト云フ森本案モ可ナリ多數デシタガ、ソレカラ新聞用紙ニ屬スルモノハ一割五分ニスルト云フ波多野案モ多數デアリマシタガ、此「二ツ」モノヲ併セルト大多數ト云フコトニナッタノデス、茲ニ於テ新聞用紙ヲ一割ニスルト云フコトダケハ、詰リ委員會ニ於テ多數デアルト云フコトハ確カニ斷定ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、協議會ニ當リマシテハ、新聞用紙ハ一割ニスルトコトハ動カサヌト云フ方針ヲ以テ、協議ヲ決定スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○森本駿君 ソレハ先ニ皆ナ少數デ倒レテ居ルノデスカラ、新タニ諸君ノ中ニ於テ案ヲ御出シニナルナラ格別デスガ、先ニ少數デ倒レテ結果トナッテハ如何ト思ヒマス

○委員長栗原亮一君 ソレハ協議會ニナスッデハ如何デス、ソレデハ御協議ヲ願ヒマス速記ヲ暫ク――

(速記ヲ中止ス)

○委員長栗原亮一君 ソレデハ唯今ノ十三類ノ印刷料紙ニ付イデ――波多野君

○波多野傳三郎君 印刷料紙ト云フ中デ「一、一枚千零八十六萬「インチ」ヨリ少カラザルモノ五百枚毎ニ四十五封度以下ノ重量ヲ有スルモノ從價一割」其他ノモノハ從價一割五分ト云フ説ヲ更ニ提出致シマス

(「異議ナシ」又ハ「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長栗原亮一君 モウ是デ手落ハアリマセヌカ、文字ノ修正ハ委員長ノ手許デ遣リマス、ソレデハ是デ了致シマシタ

午後四時八分散會

明治三十九年三月二十三日印刷

明治三十九年三月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局